

青葉会の児童発達支援及び放課後等デイサービス事業の ご家族アンケートについて（令和4年7月実施）

社会福祉法人青葉会

青葉会では、ご家族のニーズを探るため、国が定めるガイドラインの評価表等による調査に加えて毎年ご家族に対してオリジナルなアンケート調査を実施してきました。昨年に引き続き、今年も放課後等デイサービスの各事業所に加え、児童発達支援センターのリトルペガサスも同じ調査票を使ってアンケート調査をさせていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

ここでは、皆様からいただいたご回答、ご意見をまとめた形でご報告をさせていただきます。今年度は、アンケート調査を開始して初めて全事業所で回収率が100%となりました。たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

事業所	配布数	回答数	回収率
ペガサス	35	35	100%
第2ペガサス	40	40	100%
ジュニアペガサス	56	56	100%
リトルペガサス	64	64	100%

<お知らせ>

- 令和5年4月より社会福祉法人青葉会の放課後等デイサービスの4つ目の事業所として、リトルペガサスの子どもたちにお薦めの、小学生を対象とする「第2ジュニアペガサス」を柏市布施にて新規開設することとなりましたのでお知らせします。
 - リトルペガサスをご利用のご家族へは、説明会のご案内を別途お送りいたしました。関心のある方は是非ご参加ください。
 - ジュニアペガサス、ペガサス、第2ペガサスご利用の方で関心のある方は、事業所の職員までご連絡ください。一定の人数が集まりましたら説明会を開催します。
- 後期の個別支援計画では、ご希望の方は事業所において対面で面談をいたします。各事業所の管理者から改めてご案内を差し上げます。

これからも皆様に喜んでいただける楽しい活動を目指して取り組んでいきます。宜しくお願いします。

社会福祉法人青葉会
児童グループ職員一同

青葉会の児童グループ

事業所名	営業	住 所	特 徴
リトルペガサス	月 々 金	柏市小青田 1-11-3	リトルペガサスは、児童発達支援センターとして地域の幼稚園や保育園と連携を取りながらお母さんとこどもの支援をしています。発達の遅れが心配なお子さんがお母さんお父さんと一緒に通い、小集団の中で制作あそびやからだを使った遊び、食事面や身の回りのことまで様々な経験をします。 園の巡回支援や外来相談なども行っています。
ジュニアペガサス	月 々 土	柏市松葉町 6-11-8	ジュニアペガサスは、リトルペガサスを卒業した方など小学校の通常学級や特別支援学級の児童を中心とする活動の場として2016年に開所しました。 リトルペガサスで育った心と体のさらなる健やかな成長などをコンセプトとして、遊びを通じてコミュニケーションスキルを高め社会性をのばすことを目指して活動をしています。
第2ジュニアペガサス <u>(令和5年度新設)</u>	火 々 土	柏市布施	青葉会で最も新しい放デイとなります。ジュニアペガサスと同じく、リトルペガサスを卒業した小学生の遊びを通じた育ちと学びに取り組み、学年を越えたインクルージョンを目指します。 参加してくださった子どもたちやお母さんたちのニーズに応じて行きたいと考えています。最初の利用者が、この事業所の将来を創ってくれることと思います。
ペガサス	月 々 土	柏市花野井 720-124	ペガサスは、2002年に開所した全国で最も歴史のあるこどもの放課後支援事業所の一つです。特別支援学校のお友達が多いです。小学生から高校生まで利用できます。ペガサスは、こどもたちの笑顔とご家族を支えることをコンセプトとして、遊びを通じて一人ひとりのこどもが社会に適応していくための能力や知恵を身につける場を提供するとともに、ご家族のレスパイトにも応えています。
第2ペガサス	月 々 土	柏市藤ヶ谷 1785-6	第2ペガサスは、ペガサスの姉妹事業所として、異年齢のこどもたちが職員と一緒に多様な遊びや活動を通じて楽しさ、不思議さ、面白さを体験すること、基本的な生活習慣や社会のルールなど生活上のルールを身につけること、人や遊具、自然と関わりながら社会性や、感受性、基本的な運動能力を身につけることを目指して取り組んでいます。小学生から高校生まで利用できます。

1. 今年度の事業所の活動

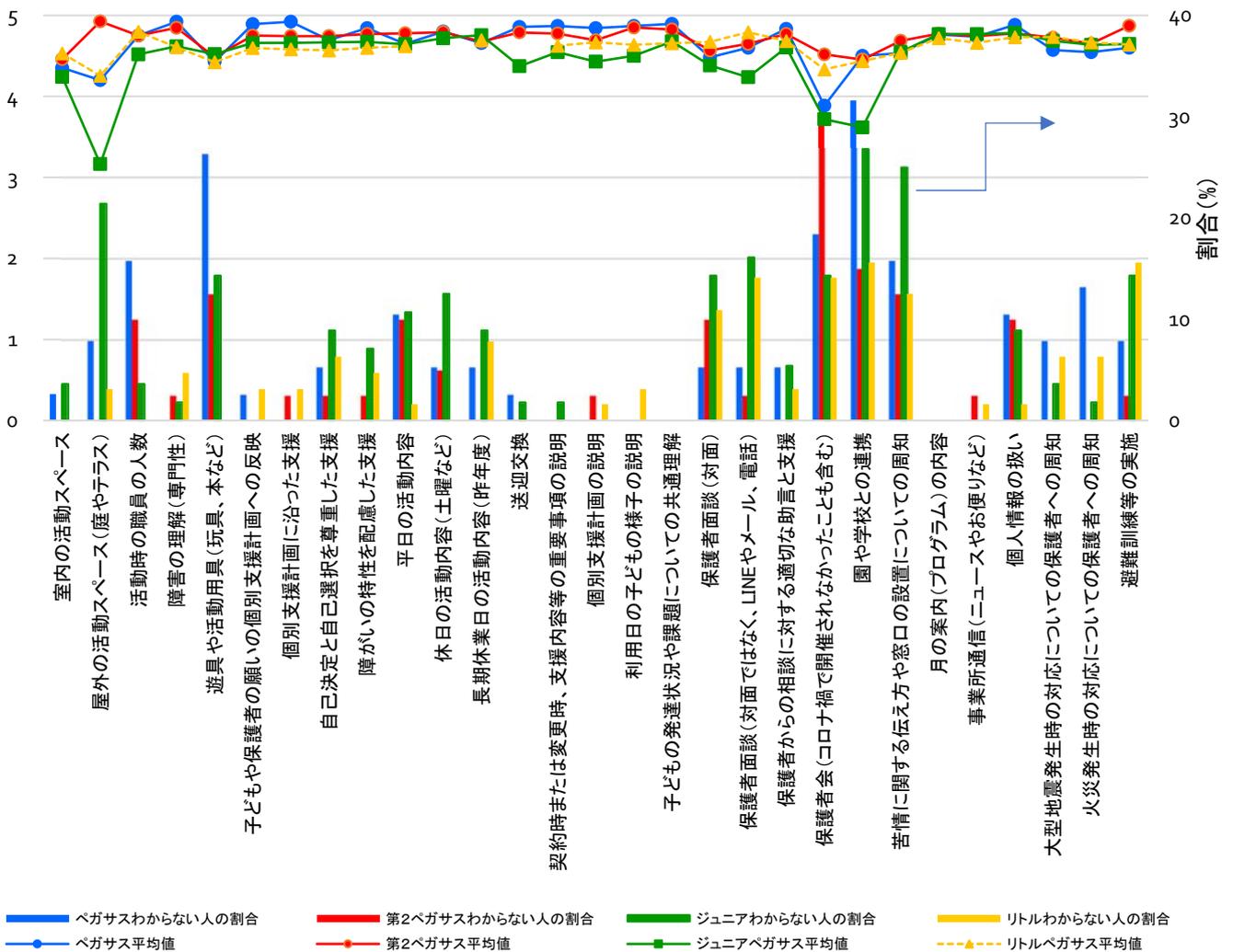
最初に、今年度の活動について満足度を尋ねました。回答の「不満」(1点)、「やや不満」(2点)、「どちらでもない」(3点)、「やや満足」(4点)、「満足」(5点)の平均点を出しました。「わからない」と回答した人の割合も合わせて示しました。考察は、各事業所の項で後述します。

全事業所ともに、いずれの項目においても比較的に高い評価をいただきました。

一方、今回も「苦情に対する対応」や「学校との連携」、「保護者会」、「遊具や活動用具」などの項目に「わからない」とする回答が多く見られました。毎年、こういった「わからない」とする方の解消に向けて取り組んできていますが、事業所の取組みがまだまだ不十分だったと反省しています。昨今のコロナ禍において、保護者会や個別面談など、直接ご家族とお話しをする機会が少なかったことも「わからない」の回答が減らない要因の一つであると考えています。

コロナ禍に対応した新しい取組みとして、今年度は第2ペガサス、リトルペガサスでオンライン保護者会を開催させていただきました。少しずつとはなりますが、各事業所で状況に応じながら直接お話しが出来る機会を準備していきます(後期の個別支援計画では、ご希望の方は事業所において対面で面談をいたしますのでご期待ください。)

事業所運営の満足度



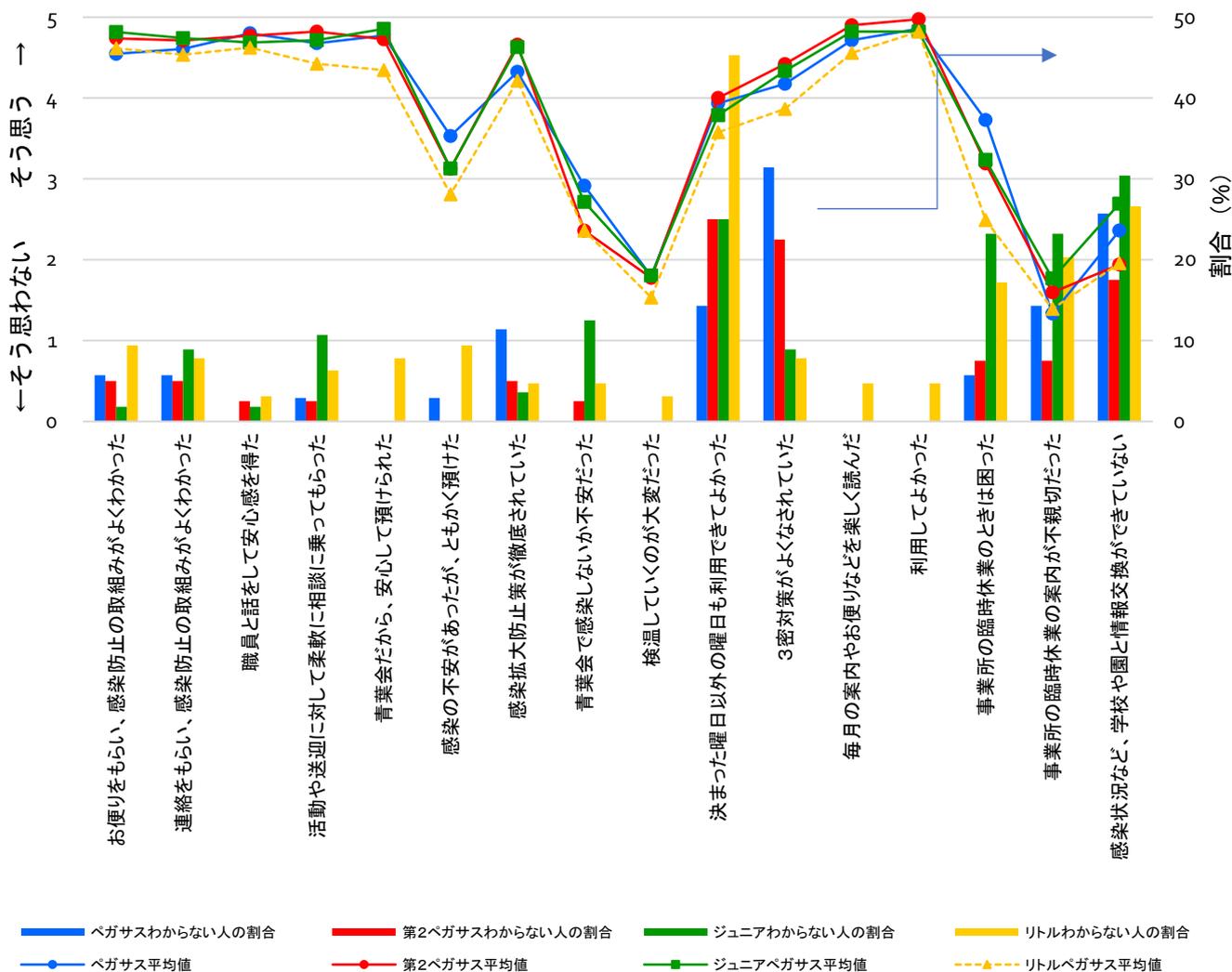
2. 昨年度からのコロナ禍での活動

(1) コロナ禍での活動

いずれの事業所においても、「利用してよかった」、「青葉会だから安心して預けられた」の項目に高い評価を得ており、各事業所のコロナ感染対策について概ね満足していただきました。

また、「毎月の案内やお便りなどを楽しく読んだ」など各種の取組みに対して高い評価をいただいております。各事業所それぞれのコロナ禍における伝え方の工夫を評価していただけたように思います。

一方、「事業所の臨時休業の時は困った」、「事業所の臨時休業の案内が不適切だった」、「感染状況など、学校や園と情報交換が出来ていない」の項目では、満足度が高かったとは言えず、「わからない」と回答された方も少なくありませんでした。事業所における説明やご配慮が不十分と考え、コロナ感染対策を徹底した上で、どのような対応が必要で、可能なのか、随時、検討し、丁寧にご説明をまいります。

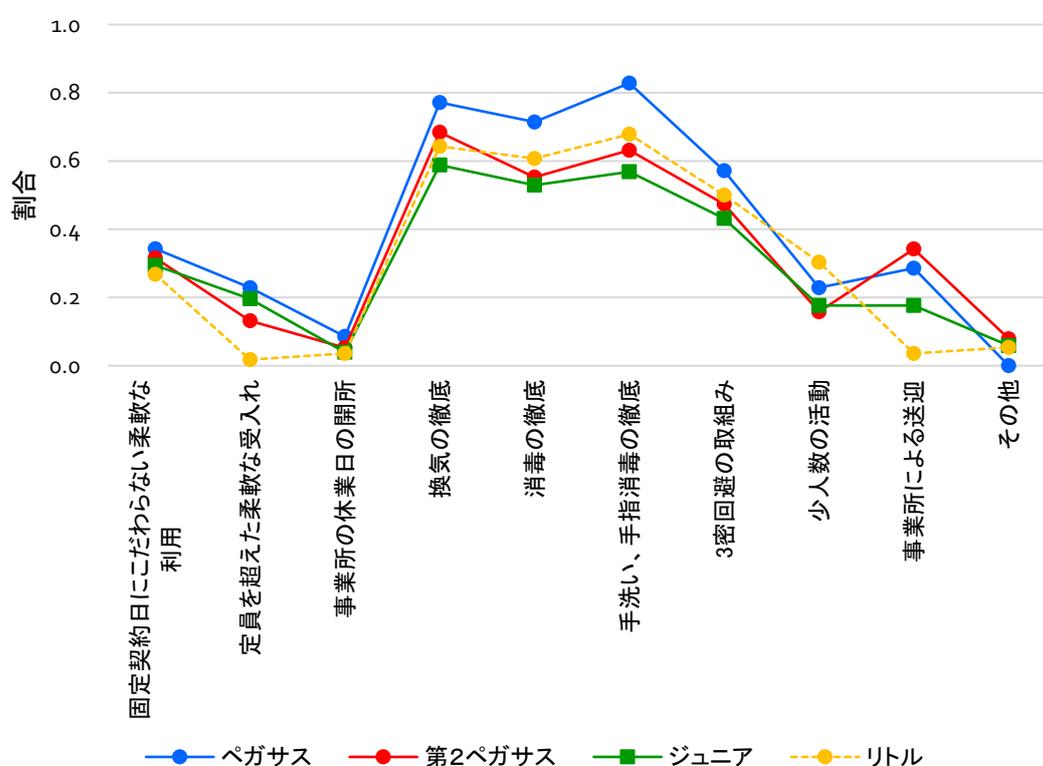


(2) 新型コロナ対策として青葉会の事業所への期待

青葉会の児童事業所のコロナ対策に対する期待度は、事業所によって期待される方の割合に差が見られるものの、同じ傾向を示しており、全ての事業所で「換気の徹底」、「消毒の徹底」及び「手洗い、手指消毒の徹底」に対して高い期待があることがわかりました。

ペガサスは、いずれの対策に対しても、他事業所以上に期待度が高いことがわかりました。できてないための要望か、取組みに対する評価なのかが不明でしたが、前者であると考えて、より丁寧な取組みに心がけていきます。

全事業所ともに、後期の活動も引き続き、特に期待度が高かった「換気の徹底」、「消毒の徹底」及び「手洗い、手指消毒の徹底」の三点セットの感染対策を徹底するとともに、子どもたち、ご家族にニーズに応じた丁寧な対応を心がけていきます。

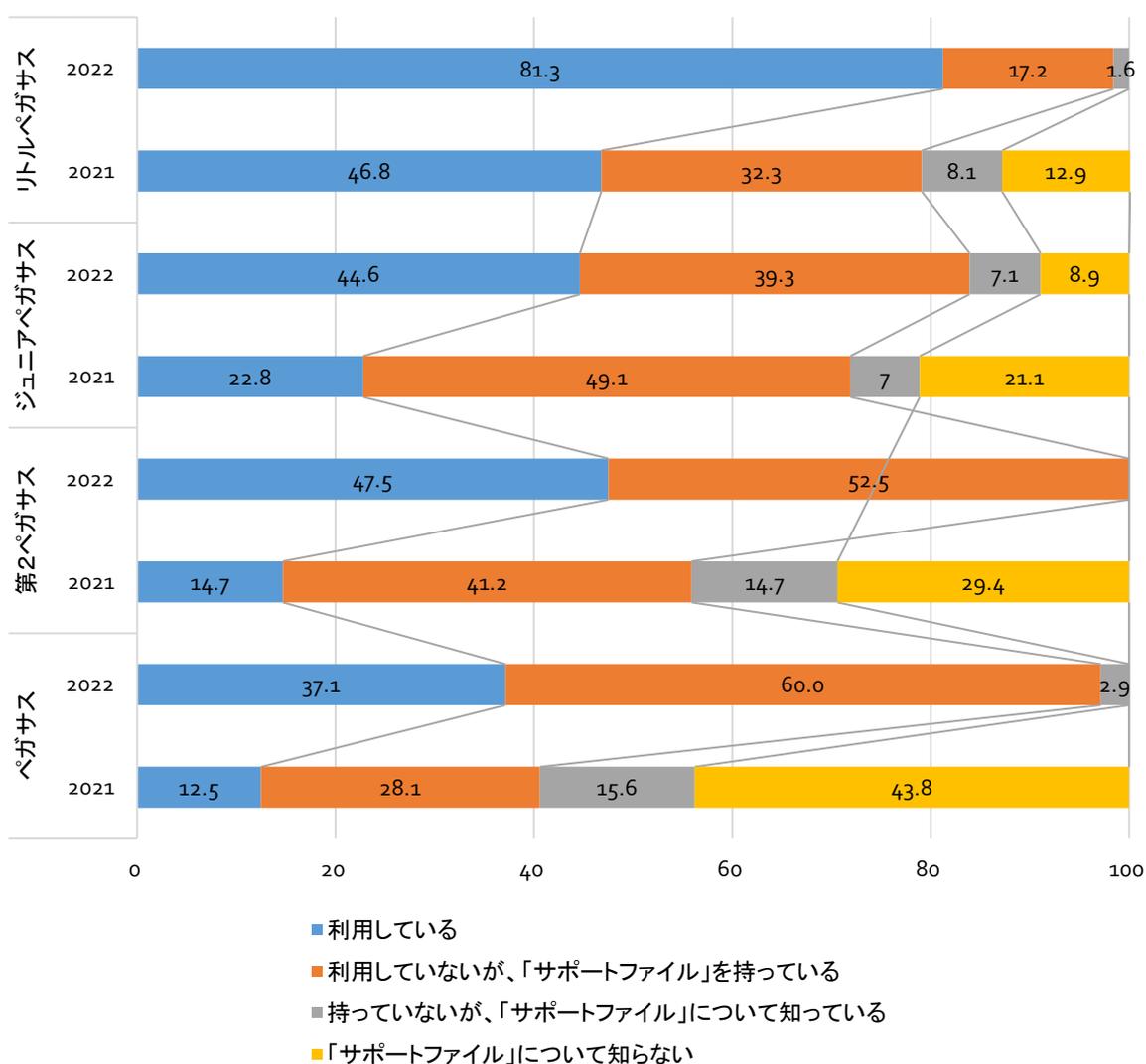


3. サポートファイル

(1) サポートファイルの利用

柏市では、障がいのあるお子さんや発達支援に配慮を必要とするお子さんを対象として「サポートファイル」の普及に取り組まれています。ご家族がお子さんの大切な成長の記録や医療・福祉サービスなどの利用に関する情報をサポートファイルにまとめて整理することで、お子さんの成長とともに、教育、医療、福祉の支援者が変わったときに、スムーズな引継ぎや情報伝達に役立つことを目指しています。しかし、この取り組みはスタートして10年が経ちましたが、まだまだ必要なご家族が利用されているとは言えません。

そこで、青葉会では昨年度より、サポートファイルの利用に積極的に取り組む法人として、①個別支援計画の作成・提供は、2021年度後期個別支援計画からサポートファイルの利用推進の一環として取り組むこと、②面談時にサポートファイルを持参してもらい、個別支援計画をサポートファイルに綴っていただくこと、③職員とご家族の意識の乖離を埋めるため、毎年サポートファイルに関する意識調査の実施に取り組んでいくこととしました。



今回の結果は、昨年度後期の取組みから約1年経ってのものとなります。

リトルペガサスでは、「利用している」と回答された方が46.8%から81.3%に増え、「利用していないがサポートファイルを持っている」と回答された方が32.3%から17.2%に減りました。リトルペガサスでは、多くの方が「サポートファイルを利用している」という状況まで進めることができました。

リトルペガサスの卒室児を受け入れているジュニアペガサスでは、「利用している」と回答された方が22.8%から44.6%に増え、「利用していないがサポートファイルを持っている」と回答された方が49.1%から39.3%に減りました。しかし、サポートファイルを「所持していない」人が15%もいらっしゃるということがわかりました。恐らく、この方たちの多くが所持されていると思います。個別支援計画の作成時の面談などで丁寧にお伝えしていければと考えています。

放課後等デイサービスのペガサス、第2ペガサスは、昨年来の取組みにより、ほとんどの方がサポートファイルを所持するようになりましたが、半数の方はまだ使っていない（持っているだけの）状況です。

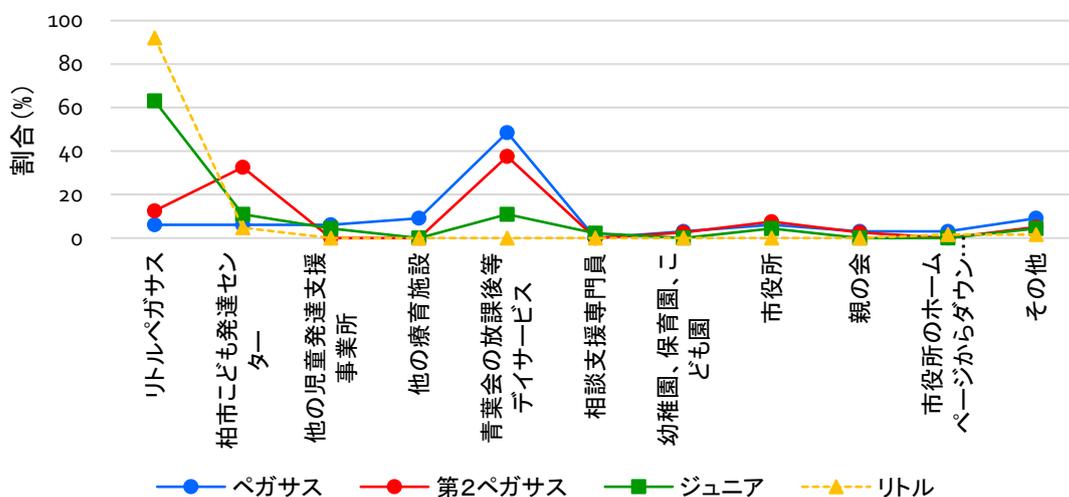
これらの結果から、各事業所での約1年間の取組みにより一定の成果が出たものの、細かい部分への配慮が足りず、まだまだご家族へ取組みが浸透していないことがわかりましたので、今回の結果を参考に、引き続き、サポートファイルの取組みを推進していきます。

（2）サポートファイルを最初にもらったところ

就学前の子どもの支援を行っているリトルペガサス、そしてリトルペガサスの卒室児を多く受け入れているジュニアペガサスでは、最初にサポートファイルをもらったところが「リトルペガサス」でした。

ペガサス、第2ペガサスでは、最初にもらったところで最も多かったのが「青葉会の放課後等デイサービス」、つまり自事業所であり、その割合が約4割となりました。第2ペガサスは、就学前に「柏市こども発達支援センター」を利用されている子どもたちも多く、他の事業所と異なり32.5%の方が最初に「こども発達センター」からもらったことがわかりました。

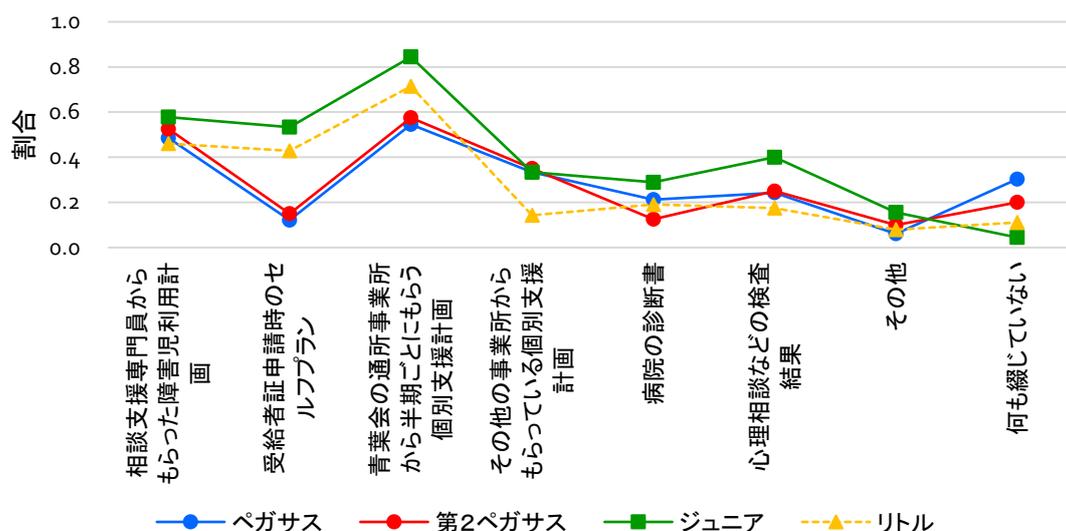
「相談支援専門員」からもらった方がいなく、シャルでの取組みがまだ機能していないことがわかりました。



(3) サポートファイルに綴じているもの

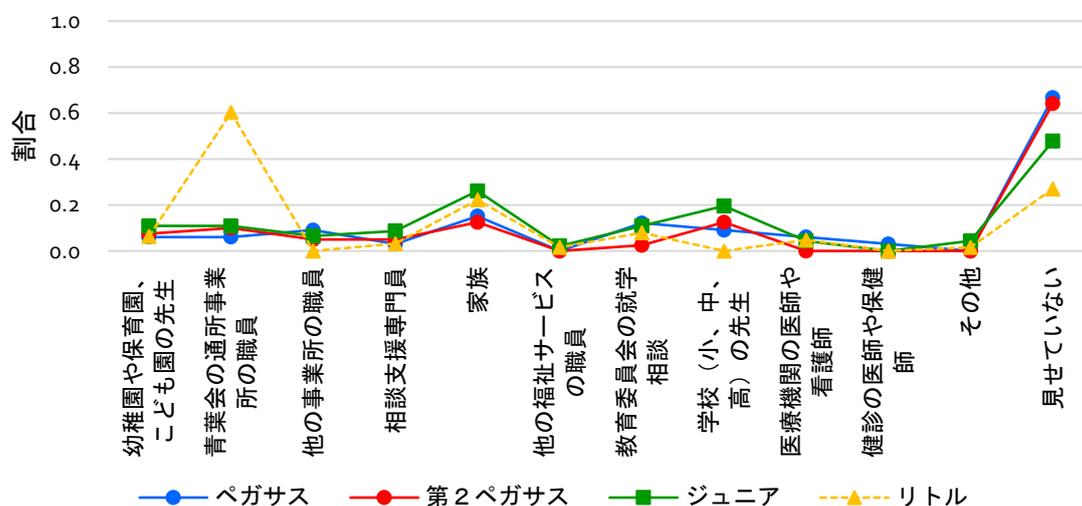
いずれの事業所も、最も多くサポートファイルに綴じているものは「青葉会の通所事業所から半期ごとにもらう個別支援計画」でした。しかし、「個別支援計画をサポートファイルに綴じていただく」と始めたサポートファイルであっても、「個別支援計画をサポートファイルに綴られている」方は全員ではなく、リトルペガサスで8割、ジュニアペガサスで7割、ペガサス、第2ペガサスでは5割程度の方でした。「何も綴じていない」と回答された方も一定数いらっしゃるから、事業所の取組みや説明がまだまだ不十分であったと考えられます。

青葉会の児童事業所をご利用の全てのご家族の皆様にとって、有益なサポートファイルの利用が行えるよう、今後ともご案内をさせていただきます。



(4) サポートファイルを見せた人

リトルペガサスでは6割の人が「青葉会の通所事業の職員」に見せていると回答されている一方で、放課後等デイサービスの3事業所では、半数以上の方が「見せていない」と回答されました。リトルペガサスの「青葉会の通所事業の職員」に見せているのは、面談時にサポートファイルを持参してもらうことをご説明してきたからですが、まだまだ全員の認識とはなっていません。



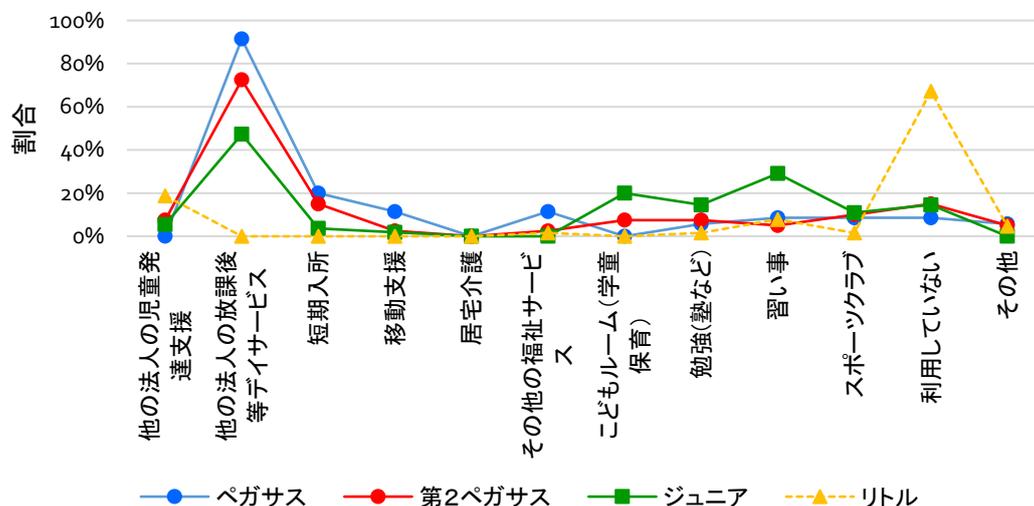
4. 青葉会の事業所以外の活動

(1) 利用されている事業所以外の他の活動

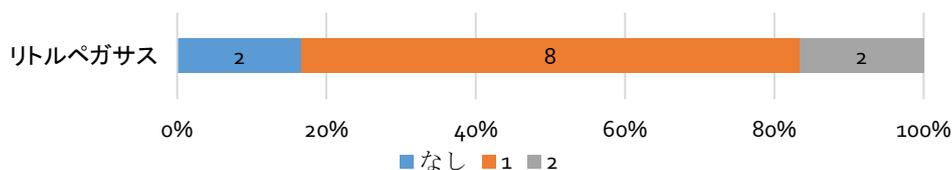
放課後等デイサービスの3事業所では、半数以上の方が「他の法人の放課後等デイサービス」を利用されていました。ジュニアペガサスでは、さらに「子どもルーム」、「塾」、「習い事」も2割から3割程度、併用して利用されている方がいらっしゃいました。リトルペガサスでは、「利用していない」方が最も多く、「他の児童発達支援」を利用されている方は2割に過ぎません。

放課後等デイサービス事業所の「短期入所」の利用は、夏休みのお泊り体験の利用がほとんどだと思います。ペガサスでは、「移動支援」の利用者が11%いらっしゃいました。

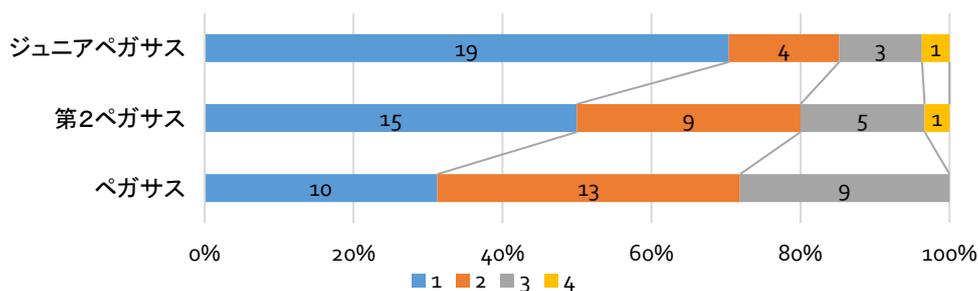
これらを除くと、ほとんどの方は、福祉サービスの利用は「放課後等デイサービス」や「児童発達支援」であって、それ以外の福祉サービスを利用されている方は、極めて限られていること、また通所先を限定して利用されていることもわかりました。



利用している他法人の児童発達支援事業所数



利用している他法人の放デイ事業所数

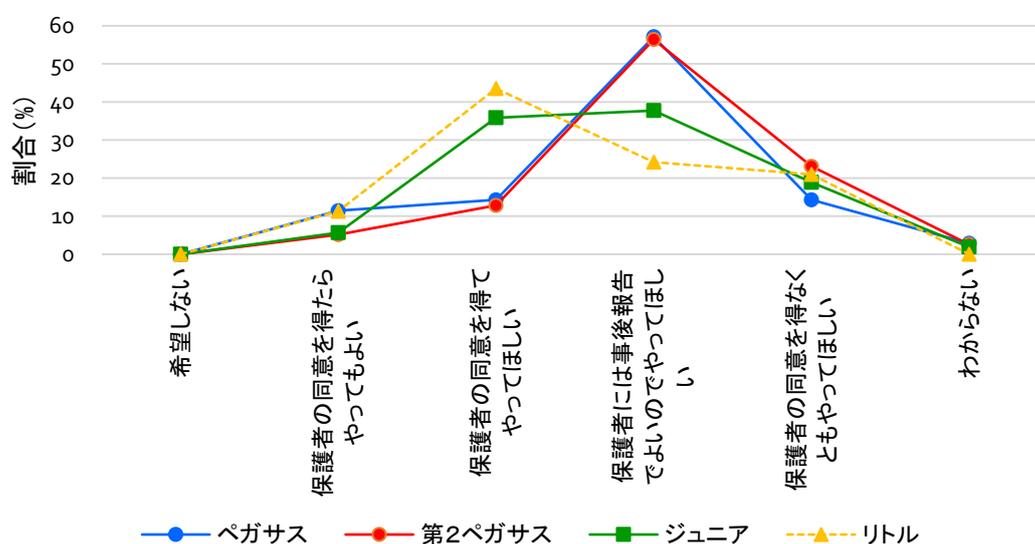


(2) こどもの情報共有

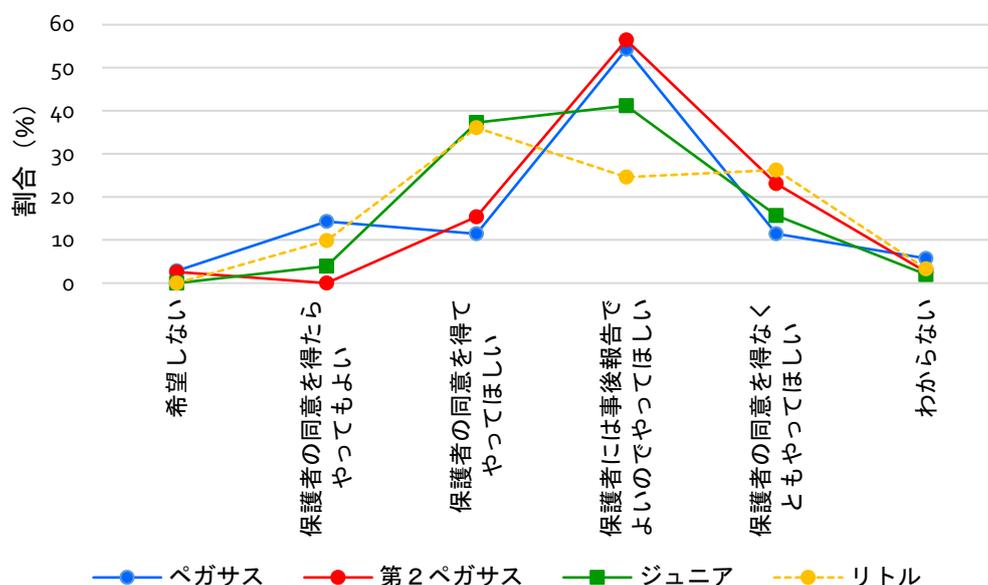
「園や学校とのこどもの情報共有」、「事業所間でのこどもの情報の共有」のいずれであっても「保護者の同意を得なくともやってもいい」とする回答は2割弱程度にすぎず、ご家族は関係機関との情報の有効な共有を望まれていることが知られました。リトルペガサスは、「保護者の同意を得てやってほしい」と回答された方が最も多く、ジュニアペガサスは、「保護者の同意を得てやってほしい」と「保護者には事後報告でよいのでやってほしい」がほぼ同数で多く、ペガサス、第2ペガサスは、「保護者には事後報告でよいのでやってほしい」が最も多く回答されました。

事業所によって保護者との同意の方法についての意見は異なりましたが、いただいたご意見を参考にさせていただき、一人ひとりの利用者の支援のため、ご家族にご説明をしながら丁寧に関係機関と連携してまいります。

園や学校とのこどもの情報の共有

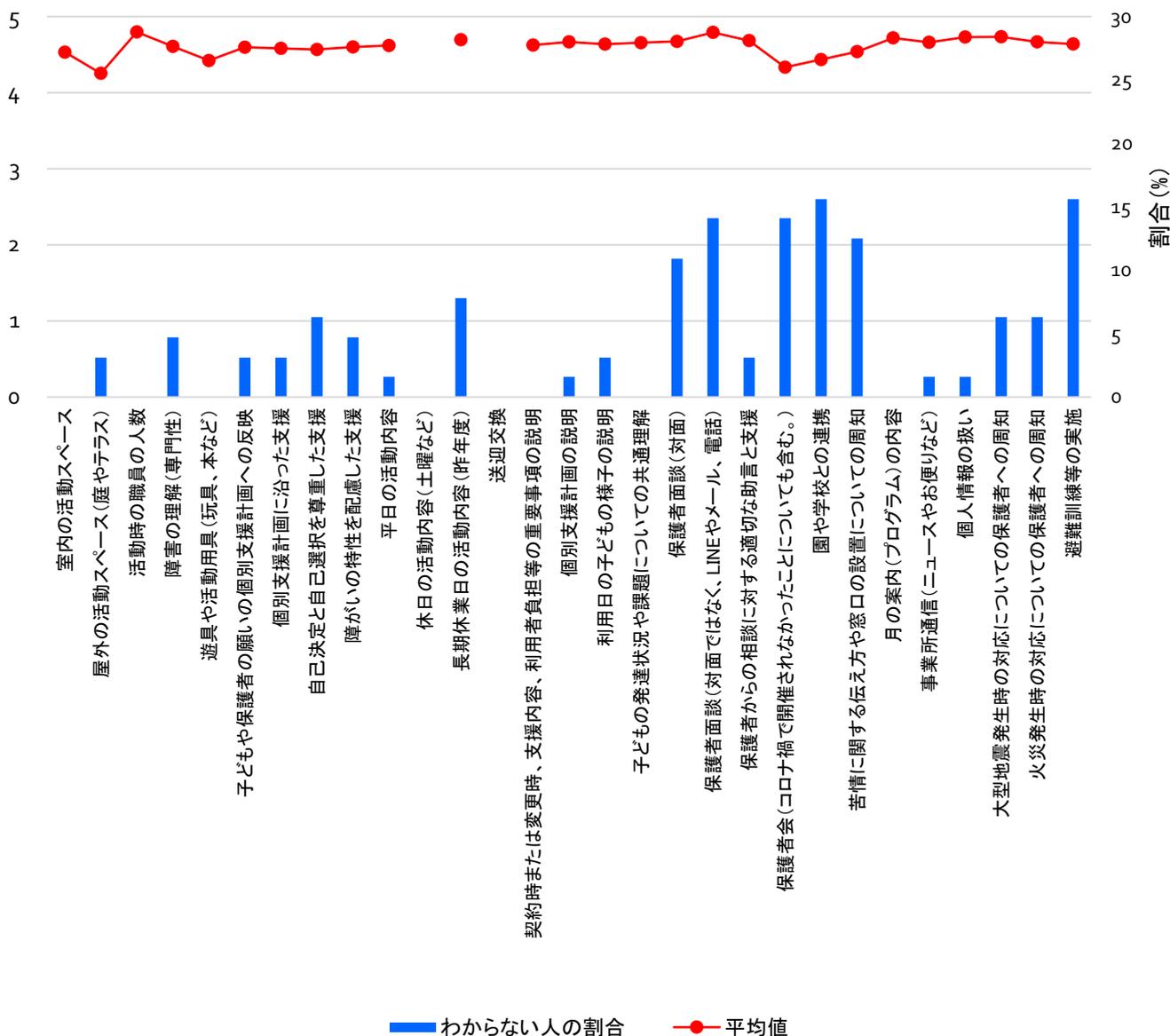


事業所間のこどもの情報の共有



5. リトルペガサス

I 今年度の活動



日頃からリトルペガサスの活動にご理解とご協力ありがとうございます。

また、お忙しい中、今年度もアンケート調査にご協力いただきありがとうございます。今年度もお配りしたアンケート調査にたくさんのご意見と回答をいただく事が出来ました。昨年の結果に比べて「わからない」と回答された方がいない項目が増えております。日々の活動でご家族の方とのやり取りを通してご説明させていただいた結果が示された一つの成果と感じています。

まずは、「(項目の意味が)わからない」と回答された方の多かった項目を中心にコメントさせていただきます。

(1) ご家族面談

新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置として面談を控える期間が続いています。感染対策を徹底しての対面面談は年長児の就学相談を中心に行っていますが、子ども達へも新型コロナウイルス感染症の感染が広がる様になってからの今年度前期は、思うように面談の機会を持っておりません。ご両親の同席面談のご要望も受けられずにいる現在の状況に私たち職員も悩ましい日々です。子ども達の育ちやご家族の皆様の困りごとは待った無しです。活動中や広めの部屋で換気を徹底しての面談は再開する方向で工夫していきたいと思います。

(2) 保護者会

昨年度の後期は保護者会を開催する事が出来ませんでした。申し訳ありません。

今年度については母子育成保育教室（こしあん・つぶあん・みたらし・よもぎ）は6月～7月に保護者会を開催させていただきました。また、母子分離育成保育教室（ずんだ組）に関しては Zoom を利用したリモート保護者会を開催させていただきました。30名の在籍に対して28名の参加がありました。また、最後の30分はリモート保育参観を開催！アンケート調査回答後になってしまいましたがたくさんのご意見・ご感想を連絡帳に書いていただきました。不慣れな Zoom を使った保護者会で不手際などありましたが、思い切って Zoom を利用してみて良かったと思っています。

(3) 苦情に対する対応

リトルペガサスでも、「苦情相談」は、入室の際にお渡しさせていただいているリトルペガサスのしおり（重要事項説明書）に記載させていただいています。事業所に、ご家族やお子さんからの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族のご要望、苦情等があれば、ご家族、お子さんの立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

窓口の担当職員だけでなく児童発達支援管理責任者や施設長にいつでも何でもご相談ください。

(4) 大型地震発生時の対応・避難訓練

年2回、青葉会全体で行う避難訓練と各事業所で行う避難訓練があります。今年度1回目の避難訓練につきましては感染防止の観点から延期となってしまいました。母子分離育成保育教室（ずんだ）とグループ療育教室は子ども達のみを通室の為、定期的に避難訓練を実施し、防災頭巾を被ることを経験したり、非常階段を使用した避難訓練を実施しています。すなっぷだより等を通して子ども達の参加の様子をお知らせしています。

また、大型地震発生時の対応については、入室時の面談時に詳しくご説明をする機会を持っていますが入室後に改めて確認する機会をあまり持っていないと思います。こちらも延期になってしまいました法人全体の避難訓練時前後の時期に合わせてご説明の機会を作らせていただきます。昨年度もリトルペガサスの休日にコロナ感染の案件でご家族の皆様にご連絡させていただいたリトルペガサスの携帯電話番号4台分もお配りしている大型地震発生時の対応のお手紙に記載していますので登録をお願い致します。

また、登録をお願いいたしました「らくらく連絡網」についてもテスト稼働を今年度中に実施します。

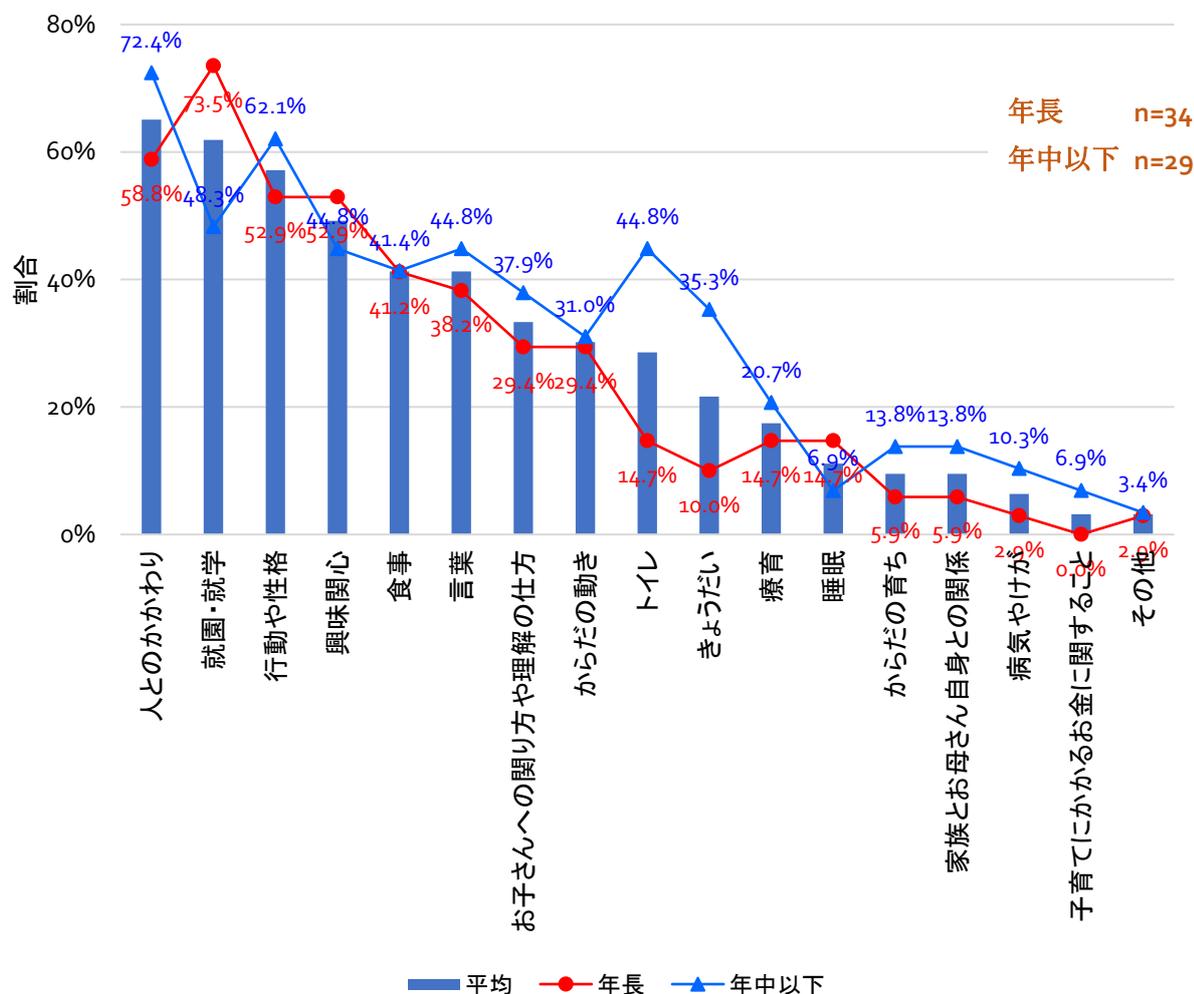
II 子育てで困っていることなど

(1) 子育てで困っていること

「今、子育てで困っていること」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、年長の方では「就園・就学に関すること」(73.5%)、「人とのかかわりに関すること」(58.8%)、「行動や性格に関すること」(52.9%)、「興味関心に関すること」(52.9%)、「食事に関すること」(41.2%)、「言葉に関すること」(38.2%)でした。

また、年中以下の方では、「人とのかかわりに関すること」(72.4%)、「行動や性格に関すること」(62.1%)、「就園・就学に関すること」(48.3%)、「興味関心に関すること」(44.8%)、「言葉に関すること」(44.8%)、「トイレに関すること」(44.8%)、「食事に関すること」(41.4%)でした。

ご家族にとっての困り感の大きさは、お子さんの障がい特性からくる課題に対する意識の高さともとらえさせていただいています。加えて、お母さんたちの課題に対する取組への関心の高さでもあると考えています。お子さんやご家庭の環境によって困り感の内容や質は異なります。私たちも、お母さんと一緒に、一人ひとりの育ちに丁寧に関わらせていただきます。

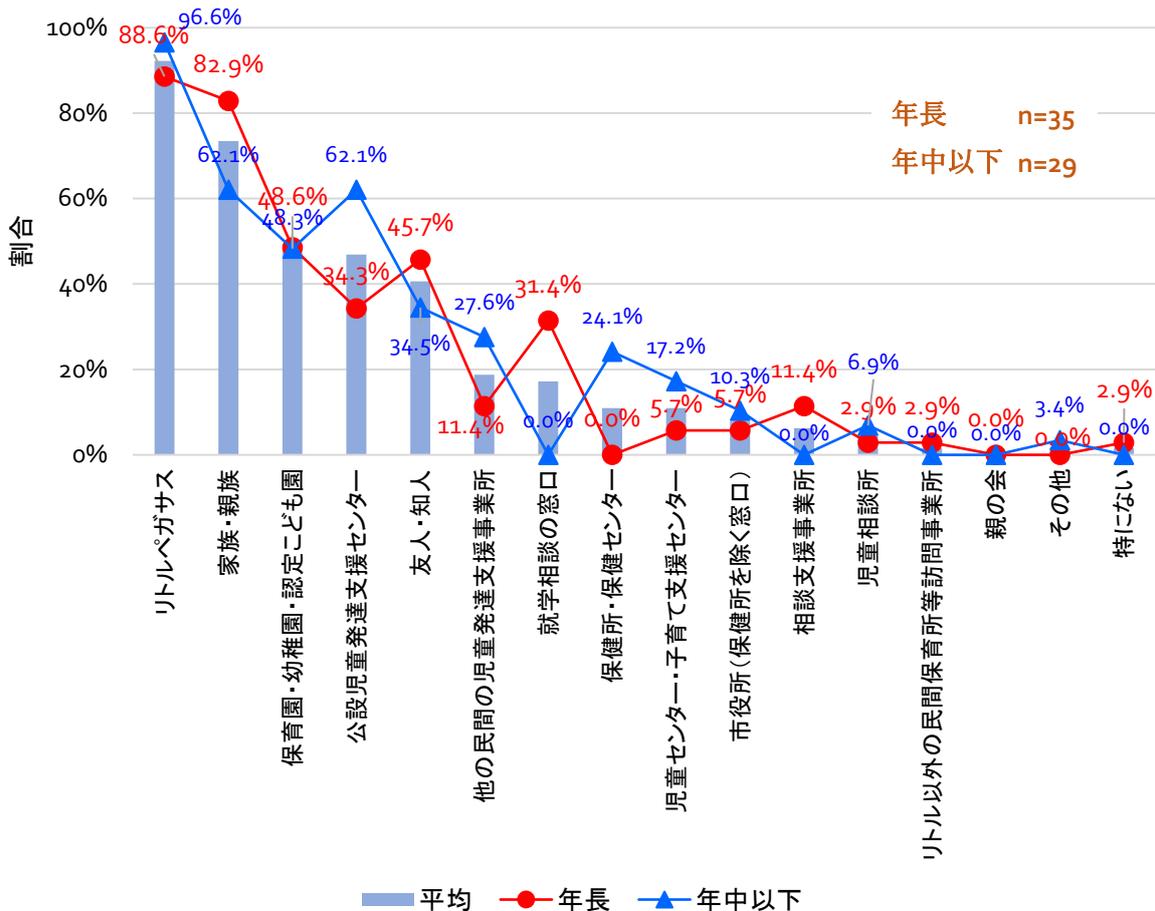


(2) お子さんについての悩みや困っていることの相談先

「お子さんについての悩みや困っていることの相談先」について、相談先を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、年長の方では「リトルペガサス」(88.6%)、「家族・親族」(82.9%)、「保育園・幼稚園・認定こども園」(51.5%)、「友人・知人」(45.7%)、「市のこども発達センター・児童発達支援センター」(34.3%)、「就学相談の窓口」(33.3%)でした。

また、年中以下の方では、「リトルペガサス」(96.6%)、「家族・親族」(62.1%)、「市のこども発達センター・児童発達支援センター」(62.1%)、「保育園・幼稚園・認定こども園」(53.8%)、「友人・知人」(34.5%)、「他の民間の児童発達支援事業所」(27.6%)、「保健所・保健センター」(24.1%)、「児童センター・地域子育て支援センター」(17.2%)、「市役所(保健所を除く窓口)」(10.3%)でした。

お子さんの年齢に関わらず、ほとんどの方が「リトルペガサス」と「ご家族・ご親族」に相談されていることがわかりました。また、相談先として「保育園、幼稚園、こども園」や「公設の児童発達支援センター」などもたくさんの方が支持されていることを知りました。ご家族とご相談しながらこれらの機関と連携してまいります。コロナ禍ではありますが面談も工夫してご家族の皆様のご相談をしっかりと受けしていきたいと思っております。

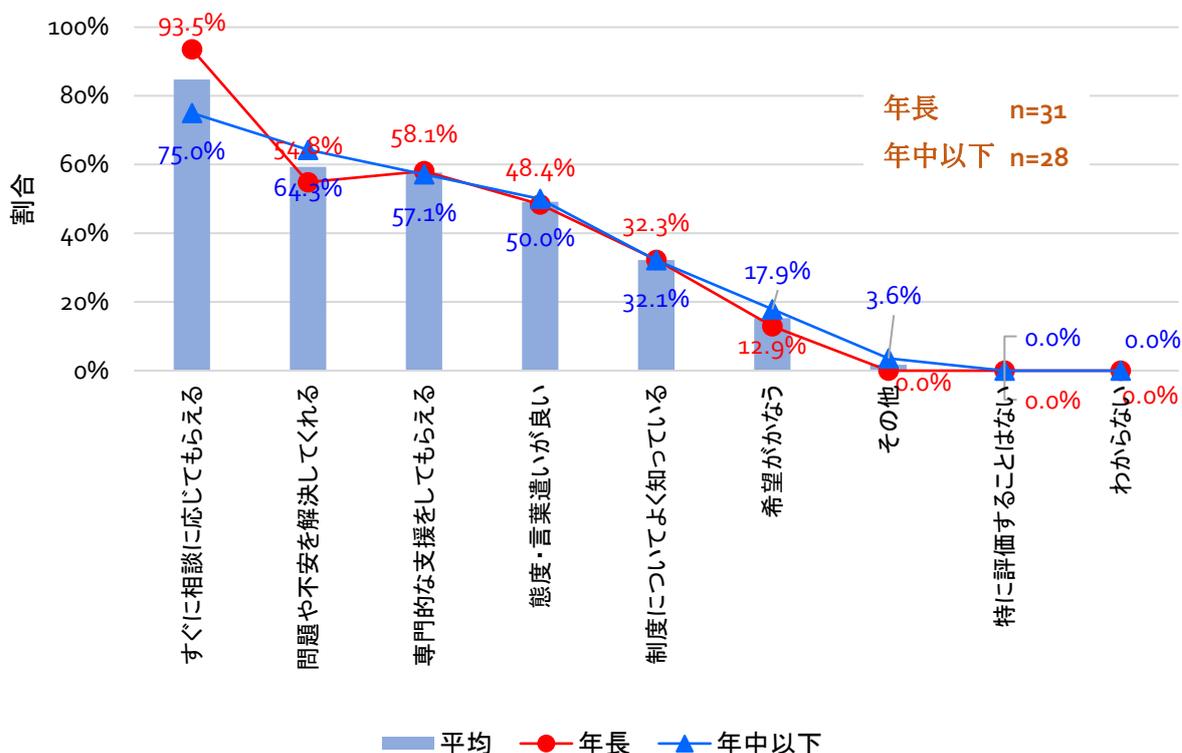


(3) リトルペガサスに相談した方のリトルペガサスの評価

「相談先にリトルペガサス」を選択された方に、「リトルペガサスを評価しているところ」について、評価の内容を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、年長の方では「すぐに相談に応じてもらえる」(93.5%)、「専門的な支援をしてもらえる」(58.1%)、「問題や不安を解決してくれる」(54.8%)、「態度・言葉遣いが良い」(48.4%)、「制度についてよく知っている」(32.3%)、「希望がかなう」(12.9%)でした。

また、年中以下の方では、「すぐに相談に応じてもらえる」(75.0%)、「問題や不安を解決してくれる」(64.3%)、「専門的な支援をしてもらえる」(57.1%)、「態度・言葉遣いが良い」(50.0%)、「制度についてよく知っている」(32.1%)、「希望がかなう」(17.9%)でした。

お子さんの年齢に関わらず、リトルペガサスの対応ぶりに対して高い評価をいただきました。母子通室の活動中や母子分離育成保育教室（ずんだ組）の送迎の際と直接職員に相談できる環境がある事も直ぐに対応できる理由になっているのではないかと思います。職員一同、この評価に元気をいただき、ご家族にお返ししてきたいと考えています。



(4) リトルペガサスをどこで知ったか

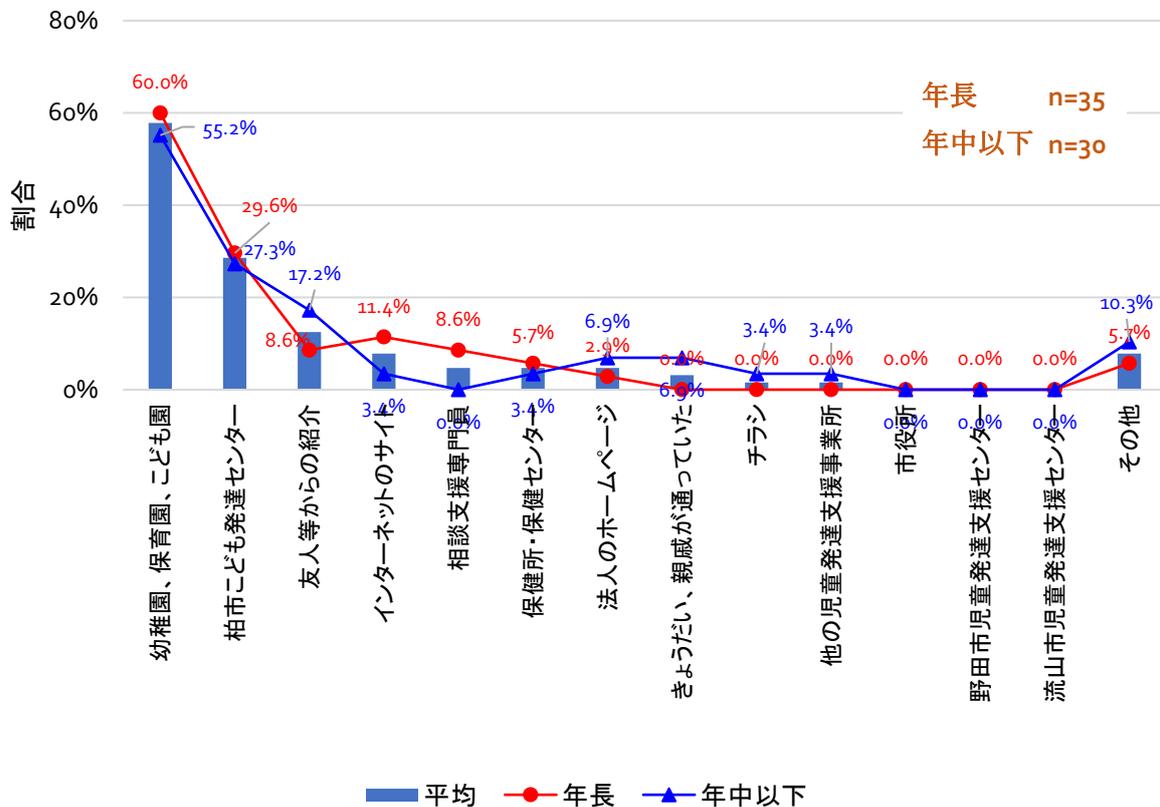
「リトルペガサスを主に知ったところ」について、機関等を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、年長の方では、「幼稚園、保育園、こども園」(60.0%)、「こども発達センター(ウェルネス柏)」(29.6%)、「インターネットのサイト」(11.4%)、「友人等からの紹介(8.6%)」、「相談支援専門員」(8.6%)、保健所・保健センター(5.7%)でした。

また、年中以下の方では、「幼稚園、保育園、こども園」(55.2%)、「こども発達センター(ウェルネス柏)」(27.3%)、「友人等からの紹介」(17.2%)、「法人のホームページ」(6.9%)、「きょうだい、親戚が通っていた」(6.9%)でした。

リトルペガサスを利用されているお子さんの多くが、お子さんの年齢に関わらず「保育園、幼稚園、こども園」、「柏市こども発達センター」から紹介されて入室されたことが示されました。これらの機関が、現在リトルペガサスにつながる大きなパイプとなっています。

リトルペガサスでは、利用していないお子さんの相談窓口としてリトルサロンを開設しています。リトルペガサスをご紹介いただいた時の最初の窓口は、皆さんサロン相談だったのではないのでしょうか。リトルペガサスは市からの委託事業の園の巡回支援で柏市の園にはお伺いする機会があります。また、園を併用しているリトルペガサスのお子さんも毎年おりますので保育所等訪問支援で園にお邪魔する事も増えています。このような、日々の園とリトルペガサスの繋がりがご紹介に繋がっていると思います。

その一方で、「市役所」や「他市の児童発達支援センター」、「相談支援専門員」、さらに「青葉会のホームページ」を通じてリトルペガサスに来られている方はほとんどいなかったことも知られました。リトルペガサスが児童発達支援センターとして、様々なところから紹介され、かつ来ていただく環境の整備をするためには、広報がまだまだ足りないと感じました。

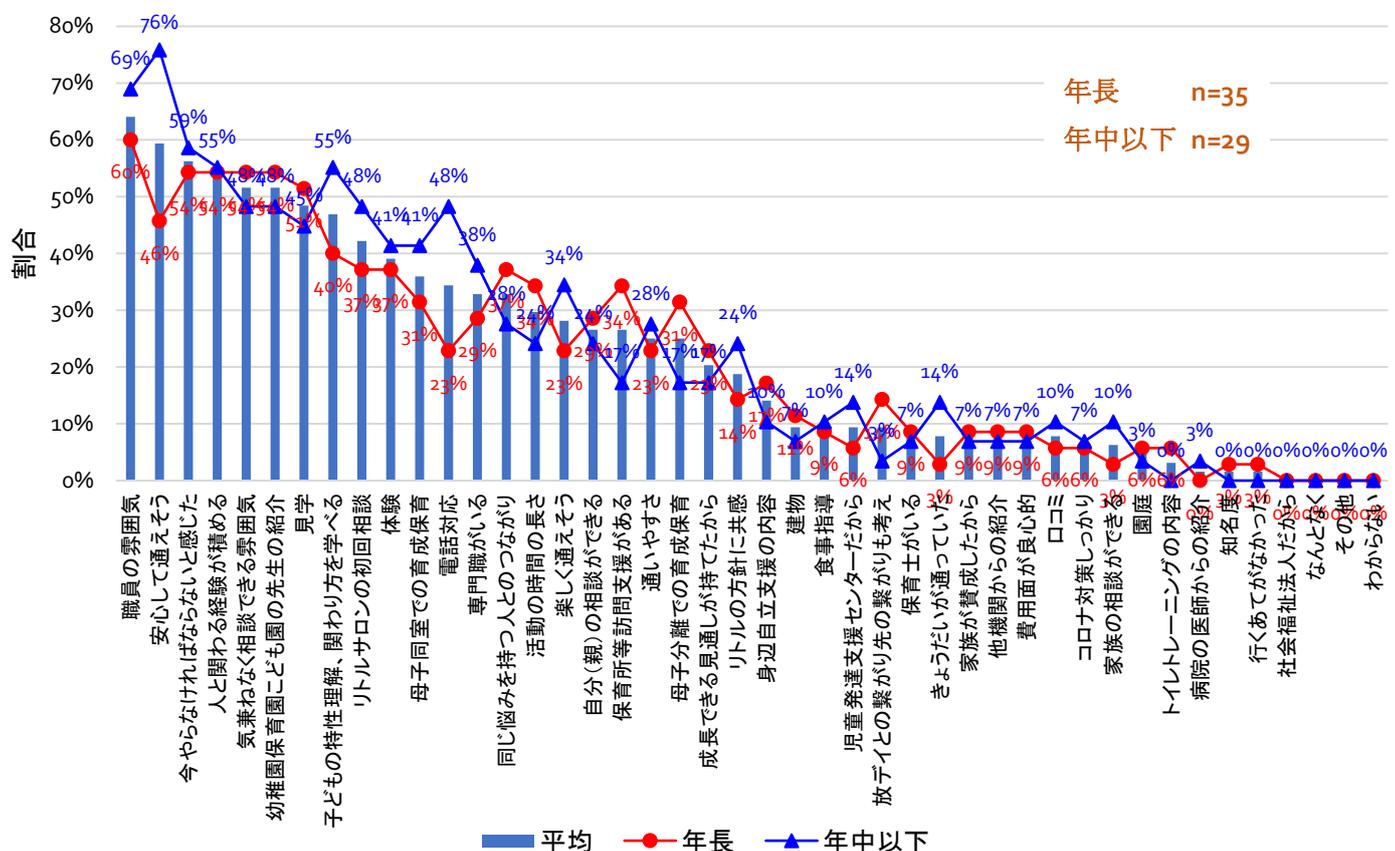


(5) リトルペガサスに通室しようと決めたきっかけ

「リトルペガサスに通室しようと決めたきっかけ」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、30%以上選択された回答で割合が高い順番に、年長の方では「職員の雰囲気」(60.0%)、「今やらなければならないと感じたから」(54.3%)、「人と関わる経験が積める」(54.3%)、「気兼ねなく相談できる雰囲気」(54.3%)、「幼稚園、保育園、こども園の先生から紹介」(54.3%)、「見学」(51.4%)、「安心して通えそう」(45.7%)、「子どもの特性の理解、関わり方を学べる」(40.0%)、「リトルサロンの初回相談」(37.1%)、「体験」(37.1%)、「同じ悩みを持つ人との繋がり」(37.1%)、「活動の時間の長さ」(34.3%)、「保育所等訪問支援がある」(34.3%)、「母子同室での育成保育」(31.4%)、「母子分離での育成保育」(31.4%)でした。

また、年中以下の方では、「安心して通えそう」(75.9%)、「職員の雰囲気」(69.0%)、「今、やらなければならないと感じたから」(58.6%)、「人と関わる経験が積める」(55.2%)、「子どもの特性の理解、関わり方を学べる」(55.2%)、「気兼ねなく相談できる雰囲気」(48.3%)、「幼稚園、保育園、こども園の先生から紹介」(48.3%)、「リトルサロンの初回相談」(48.3%)、「電話対応」(48.3%)、「見学」(44.8%)、「体験」(41.4%)、「母子同室での育成保育」(41.4%)、「専門職がいる」(37.9%)、「楽しく通えそう」(34.5%)でした。

保育園や幼稚園、こども園の先生の紹介があって、見学や体験をしたり、リトルサロンに通うことで、職員の雰囲気に安心し、今、やらなければならないと感じて、リトルペガサスの通室を決められている方が多いように推察しました。前項に加えて本項により、リトルペガサスを入室される方たちがどういう過程を経て入室されたかが明らかになりました。引き続き、リトルペガサスを訪ねて来られるお母さんたちに寄り添って、丁寧に対応していきます。

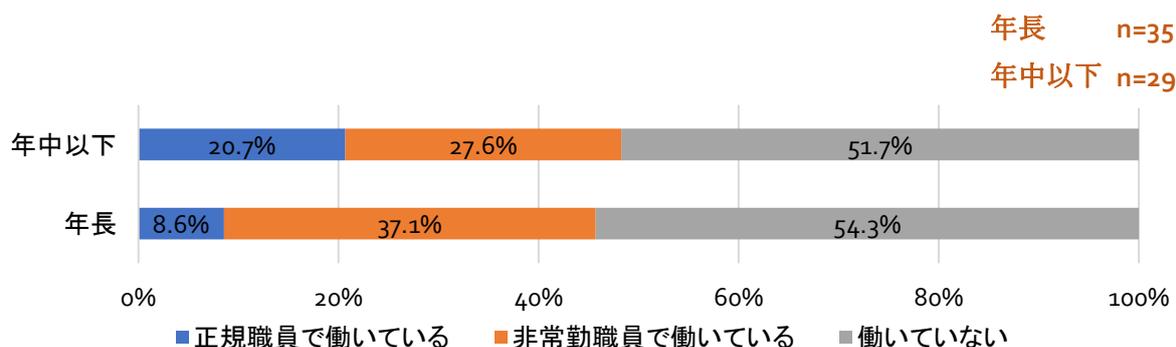


(6) お母さんの就労

「お母さんの就労状況」について尋ねたところ、お子さんの年齢に関わらず2人に1人の方が働かれていることがわかりました。

今回のアンケート調査により、リトルペガサスをご利用の方の日中の過ごしは、在宅6名(9.5%)、保育園20名(31.7%)、幼稚園29名(46.0%)、こども園8名(12.7%)ということがわかっています。この実態と比べて、働かれている方が多くいらっしゃるというのが、率直な感想です。

働かれているお母さん、働きたいお母さんの支援について検討していく必要を感じました。



(7) リトルペガサスで充実してほしい支援や、新たに実施してほしい支援

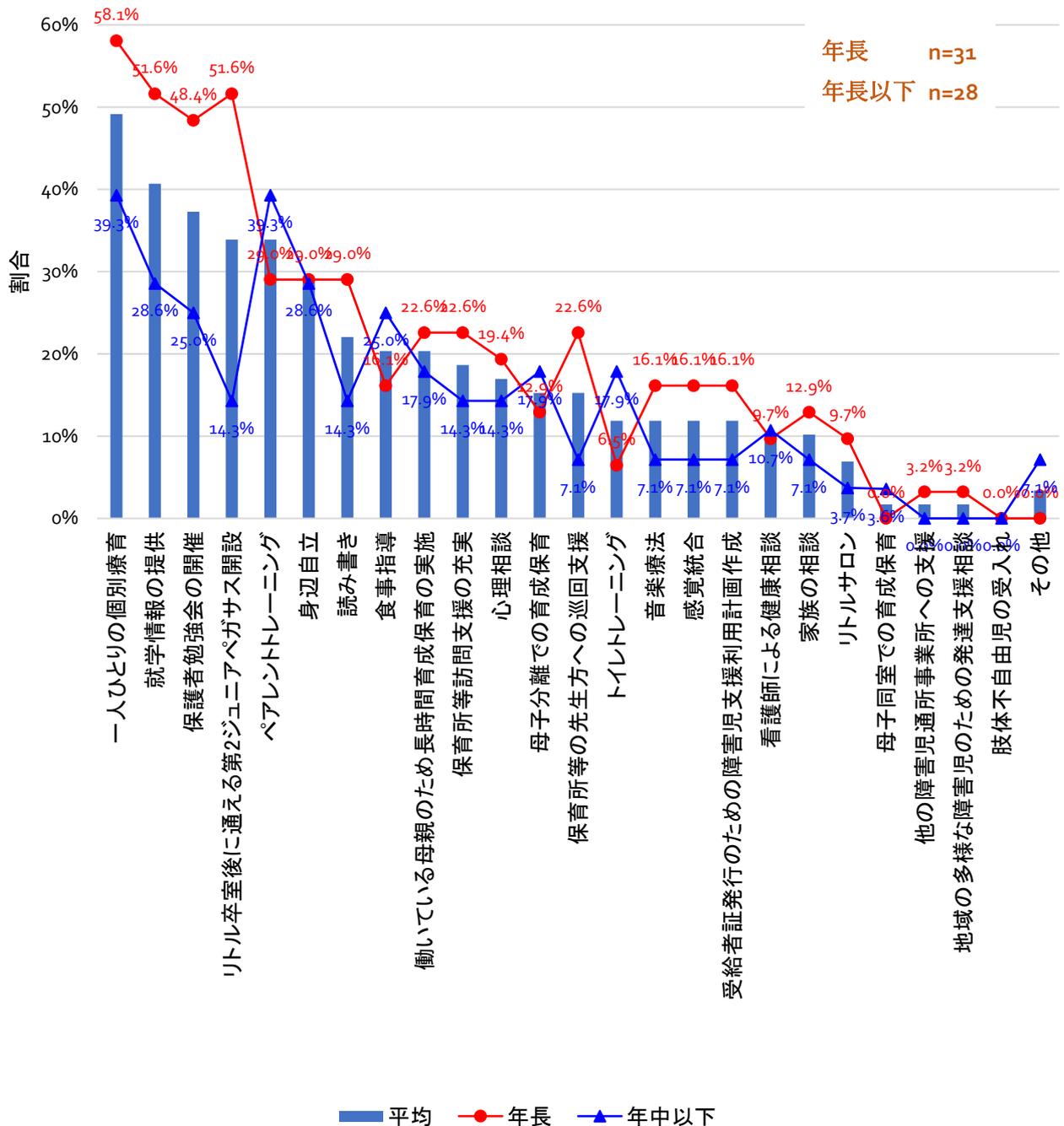
「リトルペガサスで充実してほしい支援や、新たに実施してほしい支援」について、支援を列記し、選択を尋ねたところ、15%以上選択された回答で割合が高い順番に、年長の方では、「一人ひとりの個別療育」(58.1%)、「就学情報の提供」(51.6%)、「リトルペガサス卒業後に通える第2ジュニアペガサスの開設」(51.6%)、「ご家族勉強会の開催」(48.4%)、「ペアレントトレーニング」(29.0%)、「身辺自立」(29.0%)、「読み書き」(29.0%)、「働いている母親のために長時間育成保育の実施」(22.6%)、「保育所等訪問支援の充実」(22.6%)、「保育所等の先生方への巡回支援」(22.6%)、「心理相談」(19.4%)、「食事指導」(16.1%)、「音楽療法」(16.1%)、「感覚統合」(16.1%)、「受給者証発行のための障害児支援利用計画の作成」(16.1%)でした。

また、年中以下の方では、「一人ひとりの個別療育」(39.3%)、「ペアレントトレーニング」(39.3%)、「就学情報の提供」(28.6%)、「身辺自立」(28.6%)、「ご家族勉強会の開催」(25.0%)、「食事指導」(25.0%)、「働いている母親のために長時間育成保育の実施」(17.9%)、「母子分離での育成保育」(17.9%)、「トイレトレーニング」(17.9%)でした。

この項目の回答は、前述した「子育てで困っていること」の選択とも連動する個別性の高い選択が示されているものと理解しています。その中であって、お子さんの年齢に関わらず「一人ひとりの個別療育」、「就学情報の提供」、「ご家族勉強会の開催」、「ペアレントトレーニング」は共通してたくさんの方が選択されていました。今後のリトルペガサスの運営において、参考にさせていただきます。

一方で、「母子同室での育成保育」は年長の方の選択は0%、年長以下で3.6%、「母子分離での育成保育」は年長の方の選択は12.9%、年長以下で17.9%でしかなく、むしろ個別性の高い「身辺自立」や「読み書き」、「食事指導」などの具体的な指導の方が高位に選択されているようでした。今後の育成保育のあり方を検討していく上で、改めて深堀をした調査の必要がありそうです。

また、同様に、児童発達支援センターに国から充実が求められている「看護師による健康相談」、「家族の相談」、「リトルサロン」、「他の障害児通所事業所への支援」、「地域の多様な障害児のための発達支援相談」、「肢体不自由児の受入れ」については、直接、個人の療育と関係ないからか、ご家族の関心は極めて低位でした。



リトルペガサスへのご意見・ご要望を記述していただける欄にもたくさんのご意見とリトルペガサスへの期待などをいただきました。「職員に相談できて嬉しい」、「寄り添って話を聞いてくれた」「家庭の事情を受け止めてくれた」、「子育てだけではなく愚痴も聞いてくれた」、「いつも笑顔で迎えてくれる」「子どもの事に親身になってくれる」との記載がたくさんありました。

択一式の回答からも、記述は無くても同じ事を思われているご家族の皆さんの声が聞こえてきたように思います。

リトルペガサスは『家族みんなの応援団』をモットーに、日々の活動を行っています。

他にも入室前の手続きについての簡素化、就学時の相談の充実、遊具や玩具の使い方、イベント関しても貴重なご意見もいただいています。

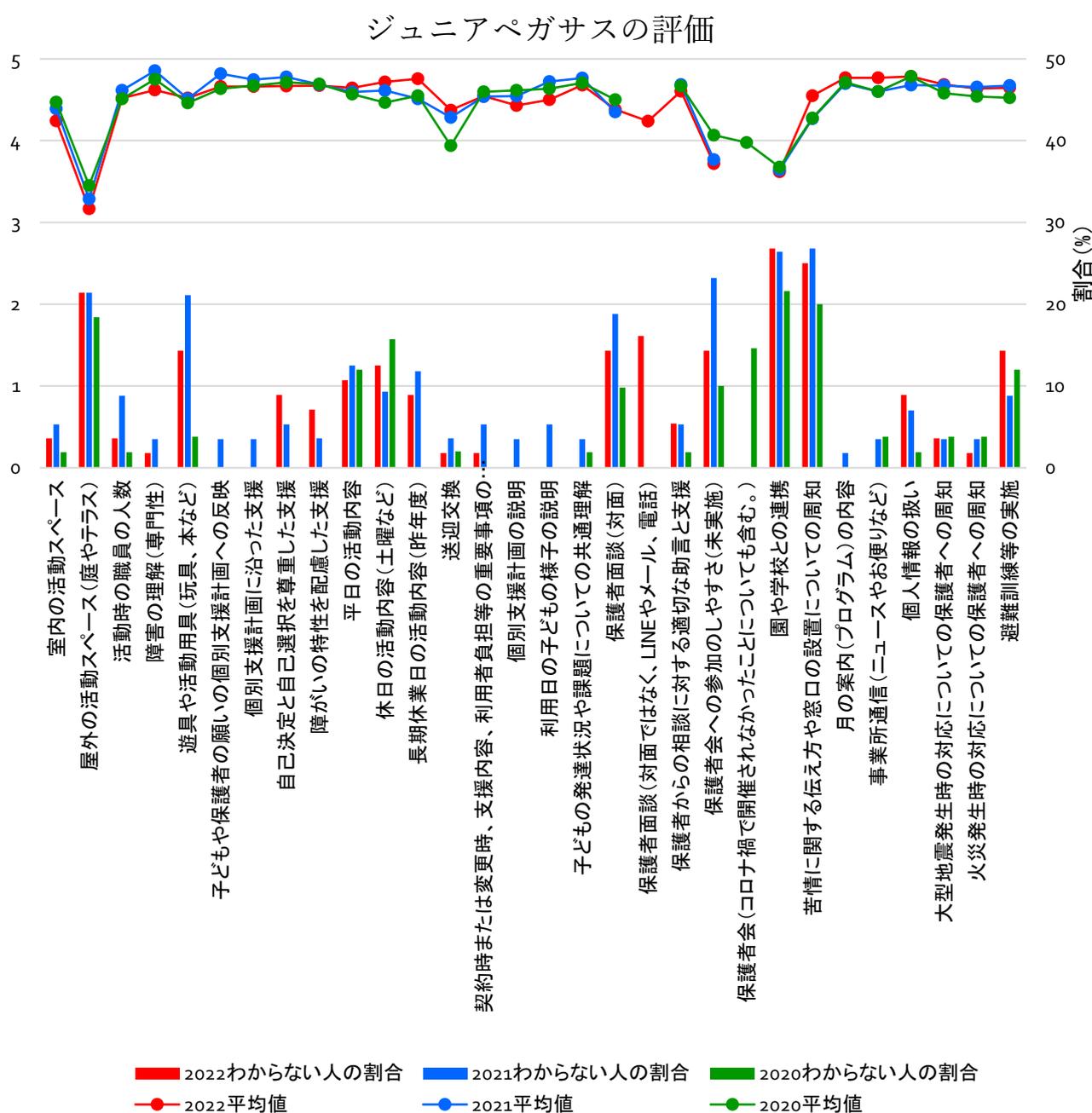
幼児期の貴重な時間をご家族のお力添えをいただきながら子ども達を真ん中にして、今しか出来ない経験をコロナ禍に負けず出来るよう後期も活動して参ります。今後ともご協力よろしくお願いたします！

(リトルペガサス職員一同)

6. ジュニアペガサス

I 今年度の活動

今年度はコロナ禍にもかかわらず、利用を控える方が少なく感染対策をしつつ活動を行う事ができております。去年度からの感染対策の徹底で安心していただけている事と、子どもたちの日々の放課後の大事な居場所であること、余暇を楽しく過ごす心の安定する場所であること、友だちや大人といろんなやり取りをする中で社会性を身につける経験を積める場所として、評価されていることが、今回のアンケートでわかりました。また、リトルペガサスからそのままジュニアペガサスのご利用を希望される方が多いため利用契約者数も多く、週数日のご利用をご希望されているにもかかわらず、週1のご利用者が多いことがわかります。



ここでは、アンケート結果での項目と比較して特に評価の低い項目と、「わからない」と答えた方が多い項目についてコメントさせていただきます。ジュニアペガサスは、例年同様今年も新しい契約者が多かったのですが、コロナ禍のため保護者会を開催できませんでした。そのためか、今年度新しく契約された方が「わからない」と回答する項目が多かったようです。

(1) 屋外の活動スペース

全ての項目の中で、評価が低かった項目となりました。事業所には屋外の活動スペースがないため、評価としては、4点未満（平均点では、やや満足～どちらでもない）となり、「わからない」と答えた方も多いです。

敷地内に遊べる屋外スペースがないので、それを補うため意識的に屋外活動を多く取り入れています。そこが、ジュニアペガサスの他にはない強みです。今年度も、「虫取りに行こう」、「公園に行こう」、「広場に行こう」、「買い物に行こう」など外での活動機会を多くしています。9月より、毎月第1土曜に、あおばで遊ぼうという企画が決まり、地域生活支援拠点あおばの体育館と広いお庭で思い切り活発に自由にみんなで楽しく過ごす企画も登場します。

(2) 遊具や活動用具

今年もコロナ禍で保護者会を開けていないため、実際に事業所内を見学していただけておらず「わからない」との回答が多かったのだと思います。毎月お送りしている案内やニュース等で活動内容を写真でお知らせしておりますので、ぜひお子さんと一緒にご覧いただきながらどんなおもちやでどういう風に友だちと遊んでいるのか聞き出してみてください。

きっと「窓のところの棚の中にねえ、おもちゃがたくさん入っててねえ、私はおままごとで遊ぶのが好きなんだ」「UNOがあるからね、みんなでやるんだあ」という具合に、子どもたちの様子が想像できる楽しいエピソードを引き出すきっかけになることと思います。

2階活動室の奥にあるジュニアペガサスオリジナルの滑り台は、松葉町に児童デイサービスが開設された2006年に、岡山で若松かやのさんたちのグループが使われていた感覚統合運動用の滑り台をそのまま同じく実現されたものです。世界で岡山とジュニアペガサスにしかありません。

また、松葉町の事業所は、今は亡き漫画家の戸部けいこさんが何度も訪ねられて「光とともに・・・」の光君が通うおひさまハウスの活動場面としてスケッチされたところです。



(3) 自己決定と自己選択を尊重した支援・障がいの特性を配慮した支援

5点満点で、4.7 近くの高い評価を得ている一方で、「項目の意味がわからない」と回答された方も少なからずいらっしゃいました。

丁寧に特性に配慮しつつ、自分で考えて決めるという経験を活動の中で自然に体験させていることを伝えられている方と、説明不足でお伝えできていない方がいることがわかりました。

皆様に、どのようなやりとりをしているか具体的にしっかりとお伝えしていきたいと思っております。

(4) 休日の活動内容・長期休業日の活動内容

去年に比べるとかなり評価が上がりました。毎月のニュースでたくさんの写真を載せているので活動内容がわかりやすくなったのだと思います。

(5) 送迎

コロナ禍での送迎のため、消毒や換気に気を配りながら対応しております。

また、たくさんのお母さんご自身で送迎をしてくださっていることに感謝しております。ご協力ありがとうございます。

(6) ご家族面談や保護者会

面談につきましては、本来でしたら支援計画をお渡しする際に行っておりましたが、コロナ禍のため、なかなかゆっくりお話しできておりません。去年から受給者証の更新の時期にサポート加算の申請シートの提出を市から求められておりますため、ジュニアでの作成をご希望されるご家族様とは、換気を十分にしながらお母様とご一緒に申請シート作成の場を持ち、お子さんについて1対1でお話できる機会を設けています。

また、今年は事例検討会で希望者にお集まりいただいて保護者会的なおしゃべりできる機会を11月15日に地域生活支援拠点あおばにて予定しております。ぜひ、ご参加いただければと思います。

お電話等でもいつでもご相談をお受けしておりますので、面談や保護者会の代わりとしてお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

(7) 学校との連携

こちらに関しては、4点未満（平均点では、やや満足～どちらでもない）という評価と「わからない」と回答された方が多くありました。

たくさんのお小学校に送迎に行くため、引き取り時には健康状態の確認はしますが、すぐに次の学校に向かわねばならず、学校の先生と毎日お話をゆっくり何う事は難しい状況です。

しかし、気になることが生じた場合には電話でのやり取りやケース会議で学校や他事業所と話し、お母様にお伝えしております。また、もしお母様の方で具体的に学校と共有してほしいことがあり連携を希望される場合はご遠慮なくお話しください。積極的に対応いたしますのでいつでもご相談いただければと思います。これからも丁寧に連携をとってまいります。

(8) 苦情に関する伝え方や窓口の設置についての周知

ジュニアペガサスでも、ペガサスと同じく「苦情相談」について、新規の契約時や、年度初めの保護者会の中で重要事項説明書に沿ってお話しさせていただいています。事業所に、ご家族やお子さんからの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族からご要望、苦情等があれば、ご家族、お子さんの立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

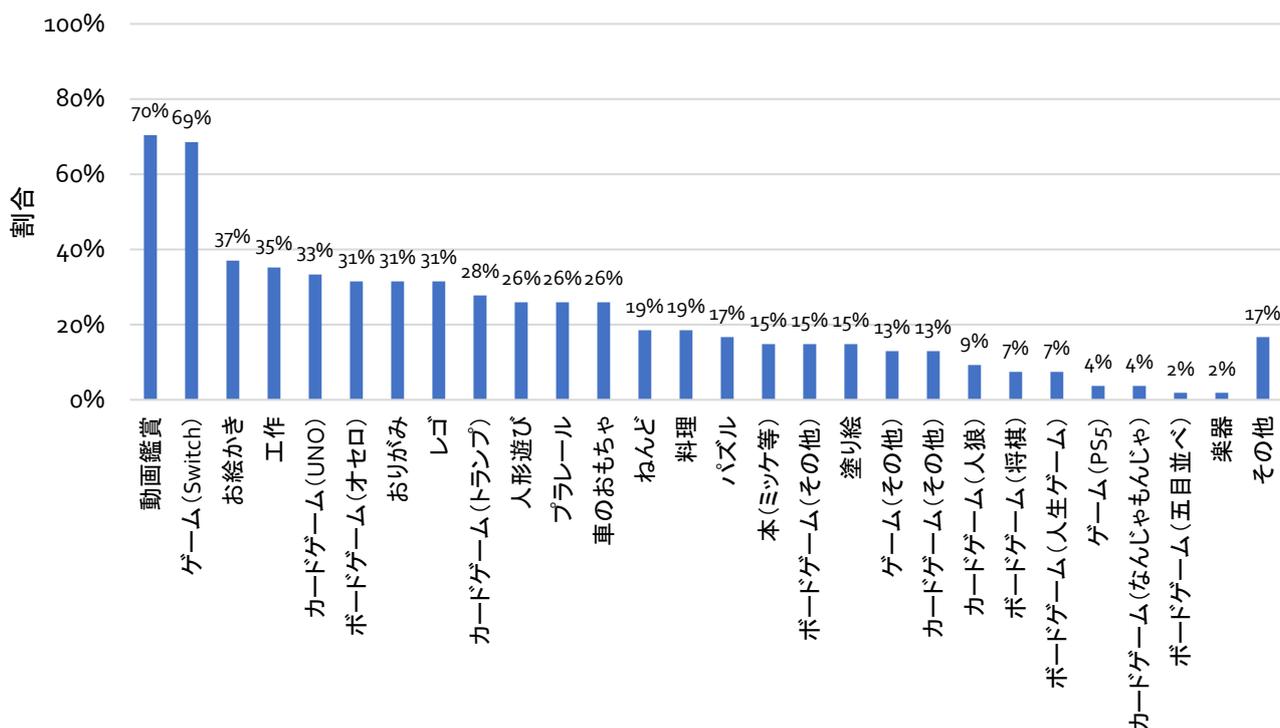
窓口の担当職員だけでなく、送迎でお会いした職員や管理者にいつでも何でもご相談ください。

II ご家族で楽しんでいる遊び

(1) 室内遊び

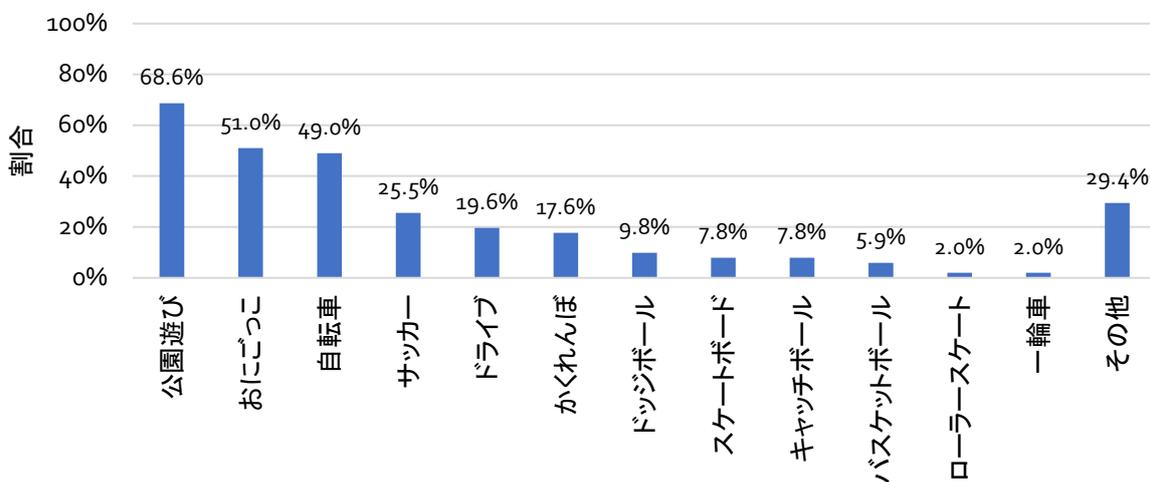
「ご家族で楽しんでいる遊び」について、遊びを列記し、選択を尋ねました。

30%以上選択された室内遊びで割合が高い順番に、「動画鑑賞」(70%)、「ゲーム」(69%)を7割の子どもたちが遊び、続いて「お絵かき」(37%)、「工作」(35%)、「カードゲーム」(33%)、「ボードゲーム」(31%)、「おりがみ」(31%)、「レゴ」(31%)となりました。家庭でたくさんの遊びをされていることがわかりました。



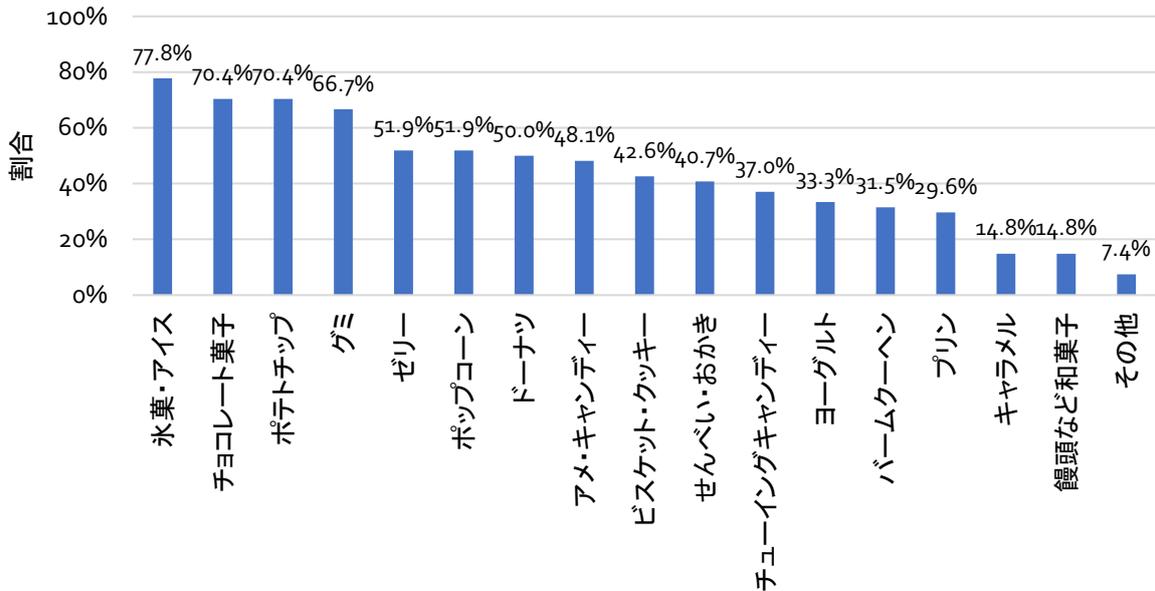
(2) 屋外遊び

15%以上選択された屋外遊びで割合が高い順番に、2人に1人が「公園遊び」(68.6%)、「鬼ごっこ」(51.0%)、「自転車」(49.0%)、続いて4人から5人に1人が「サッカー」(25.5%)、「ドライブ」(19.0%)、「かくれんぼ」(17.6%)となりました。ご家族と室内屋外に関わらず楽しく過ごせているようで、子どもたちの生き生きした姿が目に見えてきました。



(2) お子さんの好きなお菓子の種類

「お子さんの好きなお菓子」について、種類を列記し、選択を尋ねたところ、7割の子どもたちが「氷菓・アイス」(68.6%)、「チョコレート」(77.8%)、「ポテトチップス」(70.4%)、「グミ」(70.4%)が好きなこと、「ゼリー」(51.9%)、「ポップコーン」(51.9%)、「ドーナツ」(50.0%)、「アメ・キャンディー」(48.1%)も5割の子どもたちが好きであることがわかりました。また、いろいろなお菓子を食べていらっしゃることもわかりました。



🚩 アンケートで回答のあったおすすめのお菓子の商品名です（重複しています）。

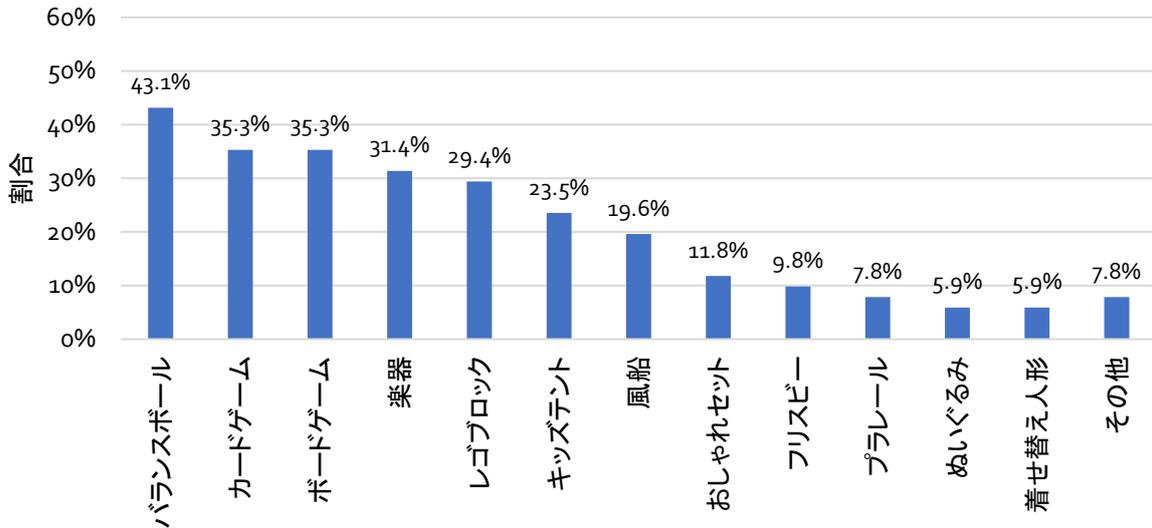
柿の種（ピーナッツなし）、ジャガビー、ぷるんとこんにやくゼリー、ポテコ、チョコケーキ（2枚入で50円くらいのもの）、しみチョココーン、プリッツ、チョコパイ、じゃがりこ、チョコマシュマロ、トッポ、火山焼、アポロ、じゃがポックル、マーブルチョコ、ポテトチップス、キャンディー、ハリボーグミ、ポテコ、堅あげポテト、ポテトチップ？昔ながらの赤い筒のパッケージの…、果汁グミ、きのこの山、たけのこの里、キットカット、オレオ、ベビースターラーメン、ねるねるねるね、ガブリチュウ、ハイチュウ、ねるねるねるね（作る系のお菓子）、こんにやくゼリー、ポケモンのお菓子、ハイチュウ、タラタラしてんじゃねーよ、カプリコ（エアースイーツ系のおかし）、果汁グミ、おにぎりせんべい、おととと、かむかむレモン、ジャイアントコーン、ヤングドーナツ、つけやき（せんべい）、かばやき三太郎、ブラックサンダー、グミ、コンポタージュ、ジャガリコ、おとと、トーマスビスケット、パッキンチョコ、果汁グミ、オレオ、ベビースターラーメン（うすしお）、ねるねるねるね、ガリガリ君、コグミ、ムーンライト（クッキー）、ポップキャンディー（不二家）、ペンシカルパス（なとり）、ラムネ（大粒）森永、スルメ、きのこの山、うまい棒（コーンポタージュ味）、もち太郎、スーパーカップ（バニラ）、ガリガリくん（ソーダ味）、ポテトチップス、ガッツギア

たくさんの具体的なお菓子の商品名を挙げていただきました。アレルギー対応等の都合もありますが、いただきました情報を参考にお菓子のレパートリーを増やせたらと思います。

(3) ジュニアペガサスにあったらいいなと思うおもちゃと本

1) おもちゃの種類

「ジュニアペガサスにあったらいいなと思うおもちゃ」について、おもちゃを列記し、選択を尋ねたところ、30%以上選択されたおもちゃで割合が高い順番に、「バランスボール」(43.1%)、「カードゲーム」(35.3%)、「ボードゲーム」(35.3%)、「楽器」(31.4%)となりました。ぜひ、購入していきたいと思います。



アンケートで希望のあったおもちゃを紹介します。具体的に希望のカードゲームやボードゲームをお聞きすることができました。ジュニアペガサスにはないものもありましたので、ぜひ今後の参考にしたいと思います。

🎴 カードゲーム (重複しています)

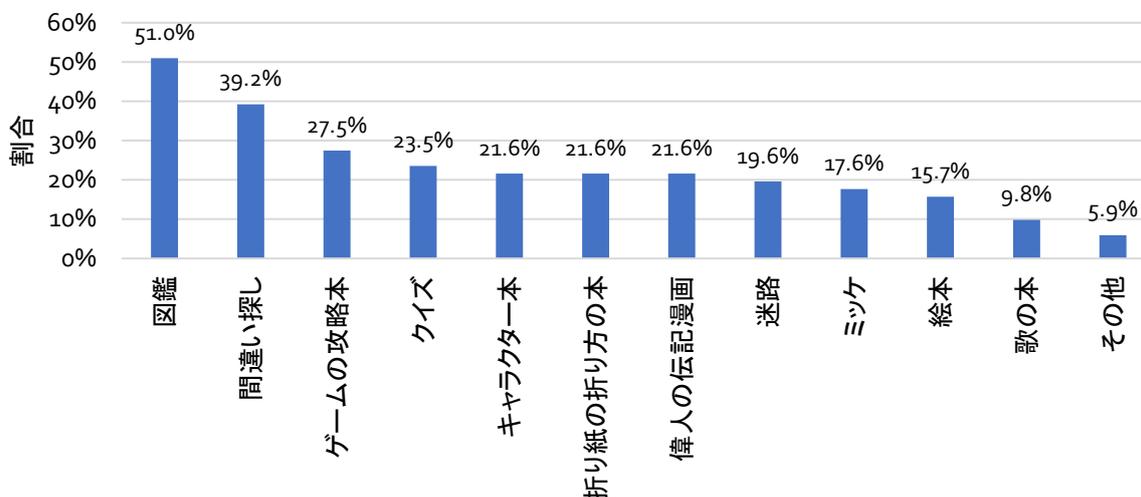
変顔マッチ、ニャーニャーゲーム、ポケモンカード、UNO、ポケモンカード、UNO、UNO、ダブル、なんじゃもんじゃ、サインタイトル、ノイ、UNO、果樹園ゲーム、トーキングゲーム、療育的なゲーム、UNO、トランプ、大きいトランプ

🎲 ボードゲーム (重複しています)

オセロ、すごろく、将棋、オセロ、人生ゲーム、ねことねずみ、マンカラカラハ、将棋、バウンスオフ、クラスク、モルック、人生ゲーム、モノポリー、チェス、すごろく、恐竜大すごろく、モノポリー、人生ゲーム、ドラえもん、日本一周ゲーム

2) 本の種類

「ジュニアペガサスにあったらいいなと思う本」について、本の種類を列記し、選択を尋ねたところ、「図鑑」(51.0%)、「間違い探し」(39.2%)、「ゲームの攻略本」(27.5%)、「クイズ」(23.5%)の順番に希望が多いことがわかりました。



アンケートで希望のあった本を紹介します。子どもたちがたくさんの方に興味をもっていることがよくわかる資料となりました。希望するゲーム攻略本の種類や、図鑑の好み、絵本のシリーズ、キャラクター本の好みがありましたので、ぜひ今後の購入時の参考にしたいと思います。

📚 ゲームの攻略本 (重複しています)

マイクラフトのプログラミング、マイクラ、マインドクラフト、あつまれどうぶつの森、ゲームのキャラクター図鑑、マリオ、カービィ、ポケモン、ゼルダ、マイクラフト、アンダーテイル、マイクラフト、どうぶつの森、ドラゴンクエスト、ゼルダの伝説、ようかいウォッチ、マリオ、マイクラ、桃鉄、あつまれどうぶつの森、マイクラ、ゼルダ、ポケモン、星のカービィ、スーパーマリオ、マイクラフト

📚 図鑑 (重複しています)

ざんねんないきものじてん、恐竜、昆虫、ポケモン、かめんライダー図鑑、ポケモン図鑑、小学館の子ども図鑑プレNEOシリーズ、昆虫、恐竜、海の生き物、星、ポケモン図鑑、鉱石図鑑、自動車、生き物、虫、昆虫の育て方、世界地図、日本地図(地理)、宝石、動物図鑑、最強王図鑑シリーズ(学研)、マーク・記号まるごと図鑑、電車、のり物、動物、水中生物、危険生物、鳥、桃太郎電鉄都道府県大図鑑、ほんとのおおきさ動物園、小学館NEOシリーズ、朝日新聞出版サバイバルシリーズ

📚 絵本 (重複しています)

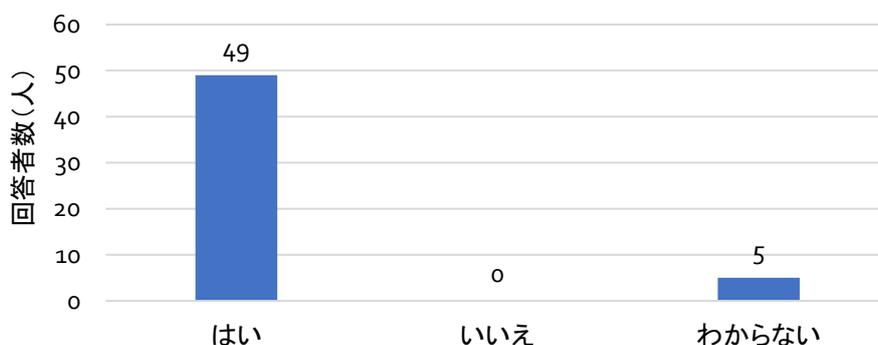
たまごにいちばんシリーズ、のらネコぐんだんシリーズ、日本昔話、世界の童話など、ガタローマンの絵本シリーズ、一日シリーズ(おもちゃ、昆虫など)、かがくのとも、旅の絵本、ヨシタケシンスケさん本(にげてさがして等)、いいからいいからシリーズ、100だてシリーズ

📚 キャラクター本 (重複しています)

パウパトロール、妖怪ウォッチ、カービィの本、ポケモンの本、ポケモン、コナン、ドラエモン、ポケモン、サンリオ、ディズニー、セーラームーン、おしりたんてい、あつ森、マイクラ、今のアニメやマンガ、星のカービィ、スーパーマリオ

Ⅲ コロナが収まった際の「ジュニアペガサスの最寄のバス停からバスに乗車してみよう」企画

「コロナが収まった際のジュニアペガサスの最寄のバス停からのバス乗車企画」の「参加希望」を尋ねたところ、ほとんどの方の賛同を得る大人気企画になることがわかりました。コロナが収まったらお出かけ企画としてぜひ実現したいと思います。



アンケートで回答のあった電車や車でいって楽しく遊べるおすすめスポットを紹介します。参考にさせていただきます。

🚊 電車や車でいって楽しく遊べるおすすめスポット（重複しています）

柏西口第一公園、手賀沼公園、野々下水辺公園（流山）（ザリガニ釣りや、水遊び）、リトルペガサス、映画館、リトルプラネット（松戸）、柏の葉公園、手賀沼の丘、プラネタリウム、流山市総合運動公園、あけぼの山公園、柏の葉公園、流山総合運動公園、キドキド（流山おおたかの森ボーネルンド）、キッズユースランドM.E.M柏店、あけぼの山農業公園、こんぶくろ池自然博物館、柏のはらっぱ（何もない芝生）、あけぼの農業公園、柏の葉公園、流山運動公園（キッコーマン）、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、KID'S US.LAND、あけぼの山農業公園、柏の葉公園、こもれび森のイバライド、清水公園、手賀沼公園、柏公園、柏の葉公園、市民プール or リフレッシュプラザ、21世紀の森、清水公園、何かの工場見学、流山市総合運動場、Tサイト、手賀沼鳥の博物館、野田市の清水公園アスレチック、茨城県自然博物館（化石発掘など）、柏の葉公園にお弁当をもって1日遊びに行こう！！ツアー、柏しょうなんゆめファーム（キャンプ場だが、アスレチックがありBBQスペース有、BBQをはさんで1日遊べそう？）、手賀の丘青少年自然の家、手賀の丘公園、あけぼの山公園、車で茨城県自然博物館、手賀の丘公園（アスレチック）、柏の葉公園、柏の葉公園、柏の葉公園、手賀の丘公園、野田市スポーツ公園、清水公園、におどり公園（三郷中央）、八潮駅前公園、関宿にここ水辺公園、まつぶし緑の丘公園、茨城県自然博物館、福岡せきさくら公園、ヤングボール、イワコー（ケシゴム工場見学）、増尾城址公園、柏の葉公園、流山総合運動公園、手賀沼親水広場、東武博物館、国立科学博物館、上野動物園、鉄道博物館、こんぶくろ池、守谷野鳥の森、根木内歴史公園、ディズニールゾートライン1週（舞浜駅）、道の駅しょうなんでウォークラリー→道の駅で好きな食べ物（1つ）を購入して食べる、じゃぶじゃぶ池で水遊び（手賀沼親水広場やふるさと公園）、松戸防災センター、流山運動公園（つくばエクスプレス 流山セントラルパーク）、柏の葉公園、アンデルセン公園、自然博物館、つくばエキスポセンター、ギャラクシティ、千葉市科学館、千葉市動物公園、JAXA 筑波宇宙センター、野々下水辺公園、手賀沼親水広場、流山総合運動公園、手賀の丘公園、清水公園、アンデルセン公園、八千代台総合運動公園、首都圏外郭放水路、庄和総合公園、成田ゆめ牧場、木下交流の杜公園

IV 子どもの表情がいきいきと明るくなる魔法のような素敵な声掛けや、エピソード

子どもの表情が生き生きと明るくなる魔法のような素敵な声掛けやエピソードについても、とてもたくさん可愛い子どもたちの様子や親子の会話を教えていただきました。

思わずニマリしてしまう子どもの行動や、癒される言葉にほっこりしました。

何気ない会話をちょっと意識するだけで、我が子の素直なかわいらしい一面を見つけられますよね。にやりほっとを日々の生活の中でほんわかと感じて、我が子の可愛さをもっともっと発見したくさん褒めてあげてくださいね♡

今回のアンケート結果を今後の参考にさせていただき、子どもたちがますます楽しみに通ってくれ、みんなの笑顔が絶えない放課後・余暇の居場所として、また、コミュニケーションの経験を遊びの中でしっかりと積んでいける場所でありたいと思います。これからもジュニアペガサスの活動が子どもたちにとって大切な時間となるように丁寧に接してまいります。

また、ジュニアペガサスの追加質問の中で、お出かけ企画の希望をたくさんいただきました。

ぜひコロナが落ち着いたら以前のようにいろんなところに出かけたいと思います。

これからもいつでも皆様のご相談をお受けいたしますので、お電話でも直接でもお話ししていただければと思います。また、にやりほっとのエピソードなど素敵なお話もお待ちしております。かわいい子どもたちの成長をご家族様と一緒に見守っていただけることを嬉しく思います。

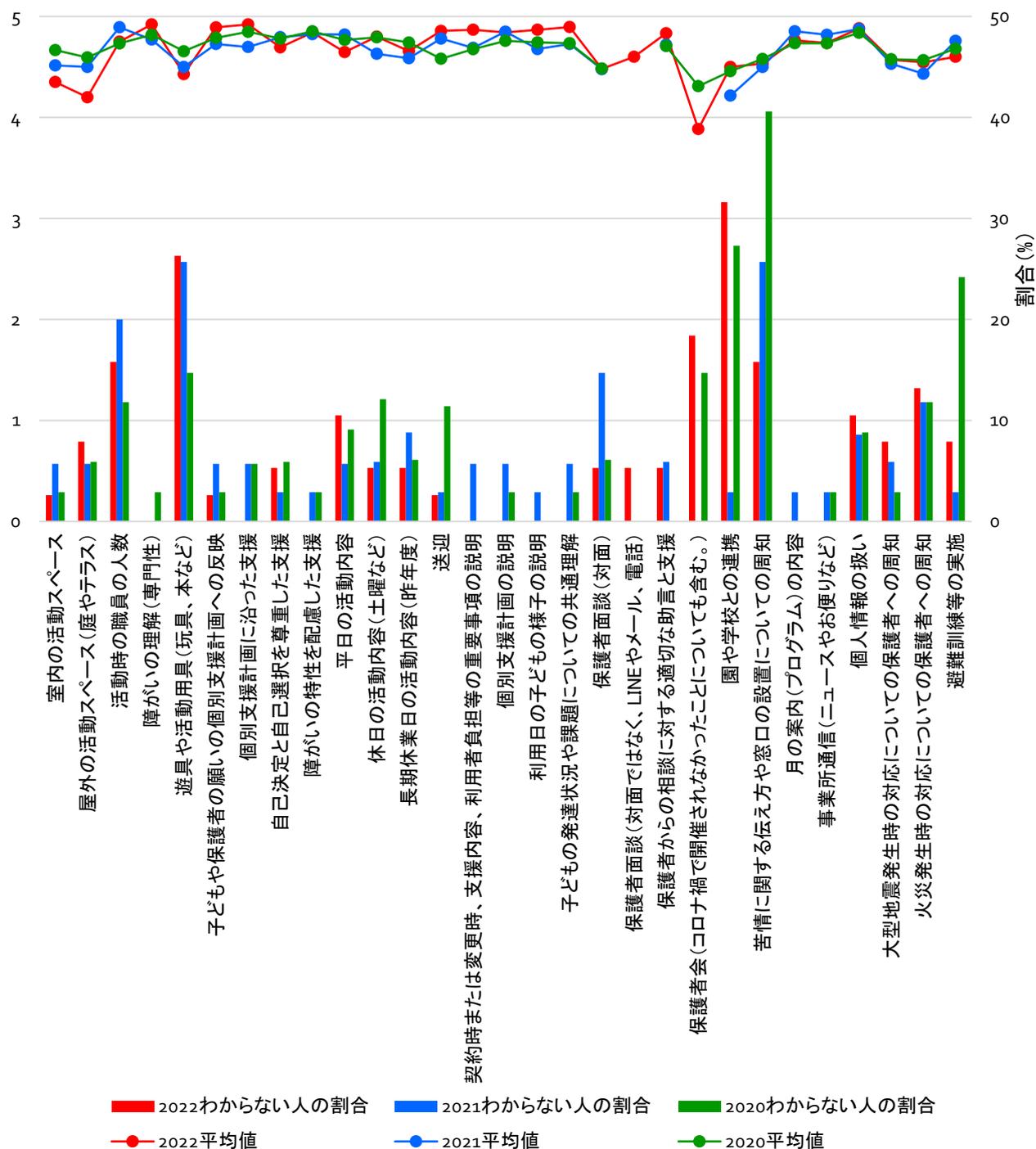
今後とも宜しく願いいたします。

(ジュニアペガサス職員一同)

7. 自閉症サポートセンター ペガサス

I 今年度の活動

ペガサスの評価



今年度は、アンケートをお配りさせて頂いた全ての方から回答を頂くことが出来ました。

お忙しい中ご協力頂きありがとうございます。ご無理を言ってお願いさせて頂いた方もいらしたと思います。申し訳なく心苦しい気持ちと感謝の気持ちをしっかりと皆様のリクエストにお応えしていけるペガサスでありたいと強く感じています。

今年度も昨年度に引き続き、重要事項をお配りさせて頂く時に補足してご説明した別紙をご用意させて頂きました。今年度は「わからない」の回答がない項目が増えました！

また、相談・苦情対応に関しては「わからない」という回答が少なくなっていますが、非常災害対策での項目では若干「わからない」の回答が昨年度よりも多くご意見を頂いてしまいました。

(1) 非常災害対策

青葉会では、昨年度、震災に対して「大型地震等の自然災害発生時における業務継続計画（BCP：Business Continuity Plan）」を制定しました。この計画に基づき、今年度、「らくらく連絡簿」の登録のご協力を皆様にさせて頂きました。

災害時での連絡手段として「らくらく連絡簿」を活用して参りますので、ご登録がまだの方は、ぜひよろしくお願い致します。

また、災害時についてのマニュアルを、後期の面談や事例検討会に向けて改めて紙ベースで保存できるようお渡しさせて頂き、直接お話しできたらと考えております。

(2) 保護者会

昨年度も課題でありました、コロナ禍での「お母様方とゆっくりお話しが出来ない中でのお伝えしていく方法の工夫をもっともっとうしていかなくてはいけない」と感じた思いは、まだまだ足りなさを痛感しております。今年度前期は保護者会を開催することや、固定契約の面談は出来ませんでした。後期の個別の面談をご希望される方へのご案内を10月の案内にてお伝えさせて頂きました。また、11月には、各事業所別の公開事例検討会を予定しております。まだまだ落ち着いたコロナ禍ではありますが、状況を見て判断していきその時々々の状態に合わせ「無理せず」ではありますが工夫をしながら進めていきたいと感じています。

(3) 学校との連携

学校も参加のケース会議の必要児に関しては、積極的に参加して参ります。また、情報共有が必要時には相談支援事業所に連絡をして会議のセッティングをしてもらいます。

事業所から積極的に各学校のコーディネーターの先生に連絡を取って参ります。

各学校お迎えの時に、引率の先生より引き継ぎを受け連携を図ります。

(4) 遊具や活動用具(玩具、本など)

この項目は、昨年度もコメントさせて頂いた項目です。ペガサス通信などでの活動紹介は行事の企画の内容がメインなので普段事業所にどのような玩具があって、どのように使い遊んでいるのかがあまり伝わって行きづらい所もあるでしょうか。

ペガサス！と言えばお庭の大きなブランコです！一人で乗ってビュンビュン勢いよくこいでみたり、“お友達と一緒に”や“小さいお友達がいるからソ〜ッとね”等も経験しています。普段はシャボン玉遊びをしたり、縄跳びやホッピングの玩具でジャンプジャンプ！

滑り台やジャングルジムに登って飛行機み〜つけた！「おーい！」と呼んで手を振ったり、夏休みの水遊びでは、滑り台がウォーターライダーに変身！水で勢いが増しスピードが出てスリル満点！等々。

室内では、トランポリンやバランスボール、ボールプールで身体を動かして遊べる道具や、パズル・ブロック・積み木・ミニカー等は量やその日の子ども達の子のみを考えながら出したりしまったり調節しています。あまり量が多くなり過ぎないようにも配慮しています。

ハサミやセロハンテープ・ガムテープ、ビニールテープ等を使い製作活動をしたり、部屋いっぱいテープの線路を作って遊んだり、何気ない遊びですが手先を使う経験を意識しています。また、今年度は音楽遊びを積極的に取り入れ楽しんでいきます！

楽器を作るところから始め、大人との信頼関係を育むきっかけとなったらいいな…。

曲に合わせて降ったり叩いたりして楽しむ所から始め、「せ〜の！」と合わせてみたり、ひとりで音を出して楽しむ〜お友達と一緒に！合わせて！歌ってみたり♪夏休みには、こだまの畑の奥の竹やぶに遊びに行き小さなピアノ演奏を楽しみました。

ペガサスの本や玩具は、ご家庭から寄付して頂く機会が多くとっても助かっています。すぐに壊れてしまったり、使いこなして劣化してしまう頻度が高いため、このような皆様からのご協力は、とてもありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。ぜひ、ご家庭で使わなくなってしまった玩具や、使っていない物、処分しようとおもっているんだけど…という遊び道具があったらお声掛け頂けたら嬉しいです！

Ⅱ こどもさんの進路

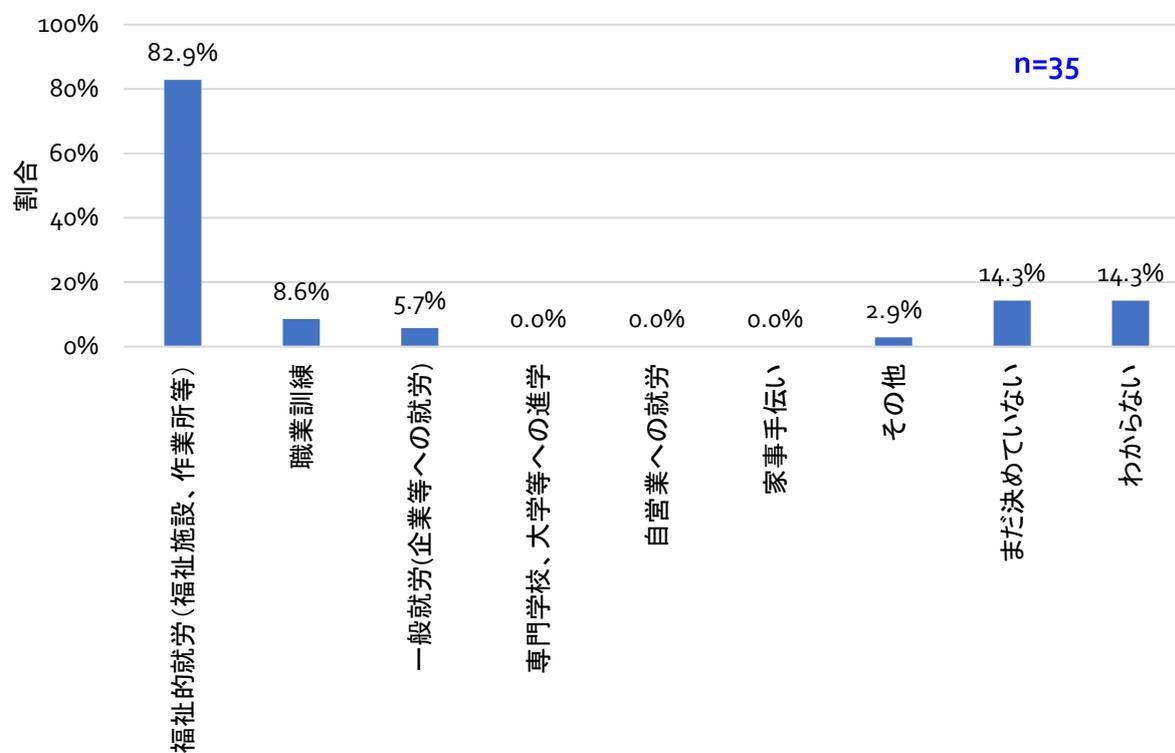
昨年度に就労についてご家族の皆様の貴重なご意見をお聞かせ頂きました。今回は、より具体的に、学校卒業後の就労に関するイメージや、いつの年齢くらいから意識されてきたかなど、詳しくお尋ねした結果を紹介します。

(1) 高校（高等部）卒業後の進路先（就労先）の希望

「高校卒業後の進路先の希望」について、進路先を列記し、選択を尋ねたところ、いわゆる「企業就労」ではなく、10人に8人が「福祉的就労（福祉施設、作業所等）」を選択されました。

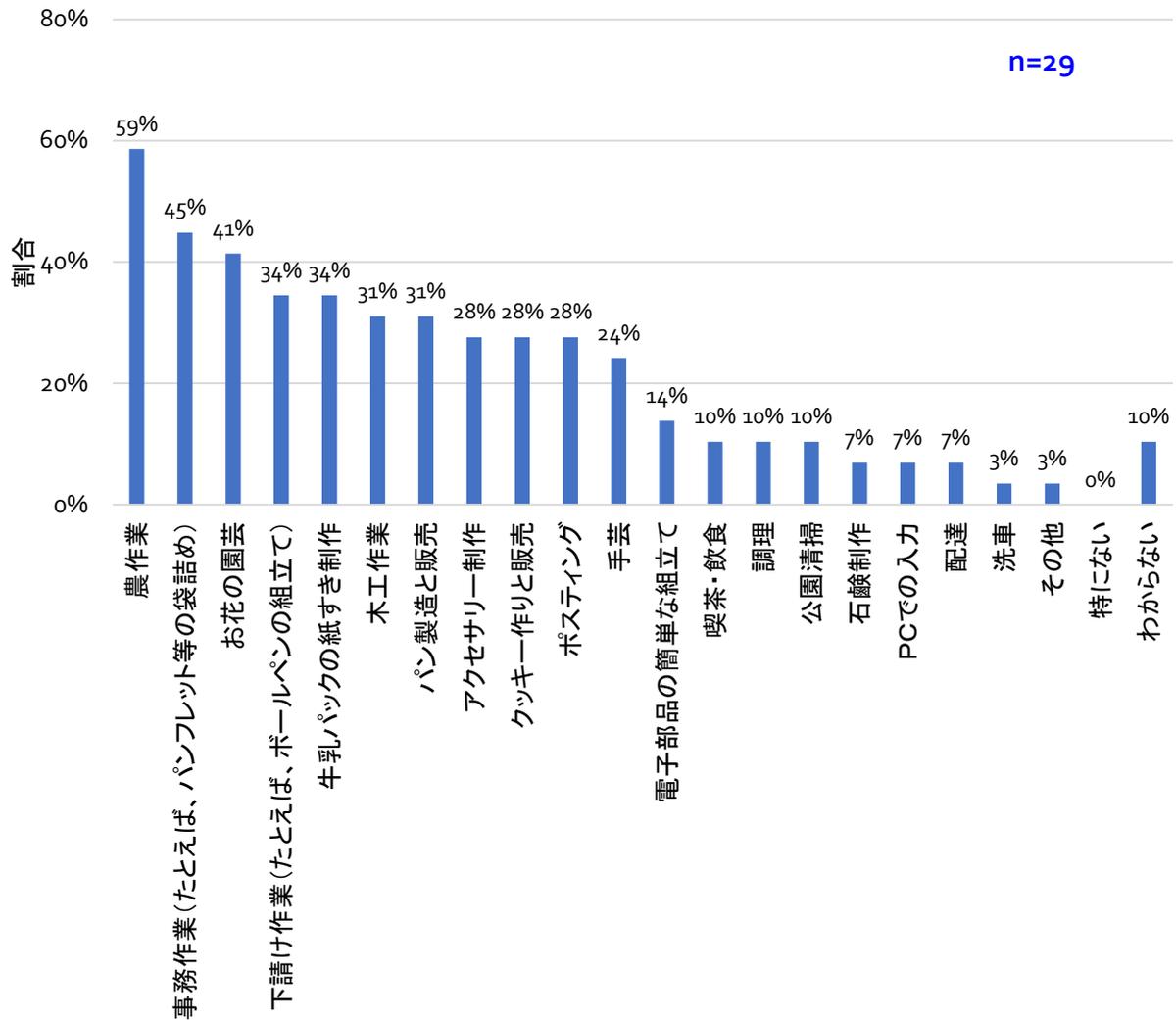
その一方で、子どもの年齢が低いほど「まだ決めていない」や「わからない」の選択が見られています。

これらの結果は、昨年度実施したアンケートの結果と同じ結果でした。



(2) 作業所での興味ある就労

「福祉的就労（福祉施設、作業所等）」を選択された方に、「作業所では、どんな内容の就労に興味があるか」について、作業内容を列記し、選択を尋ねたところ、「農作業」（59%）に6割近く、「事務作業」（45%）、「お花の園芸」（41%）が4割強、続いて「下請作業」（34%）、「牛乳パックの紙すき制作」（34%）、「木工作業」（31%）、「パン製造と販売」（31%）が3割強、「アクセサリ制作」（28%）、「クッキー作りと販売」（28%）、「ポストティング」（28%）「手芸」、（24%）が3割弱の選択をされました。いずれも、特別支援学校で取り組まれているものであり、馴染み深さが選択のポイントになっていると想像しました。

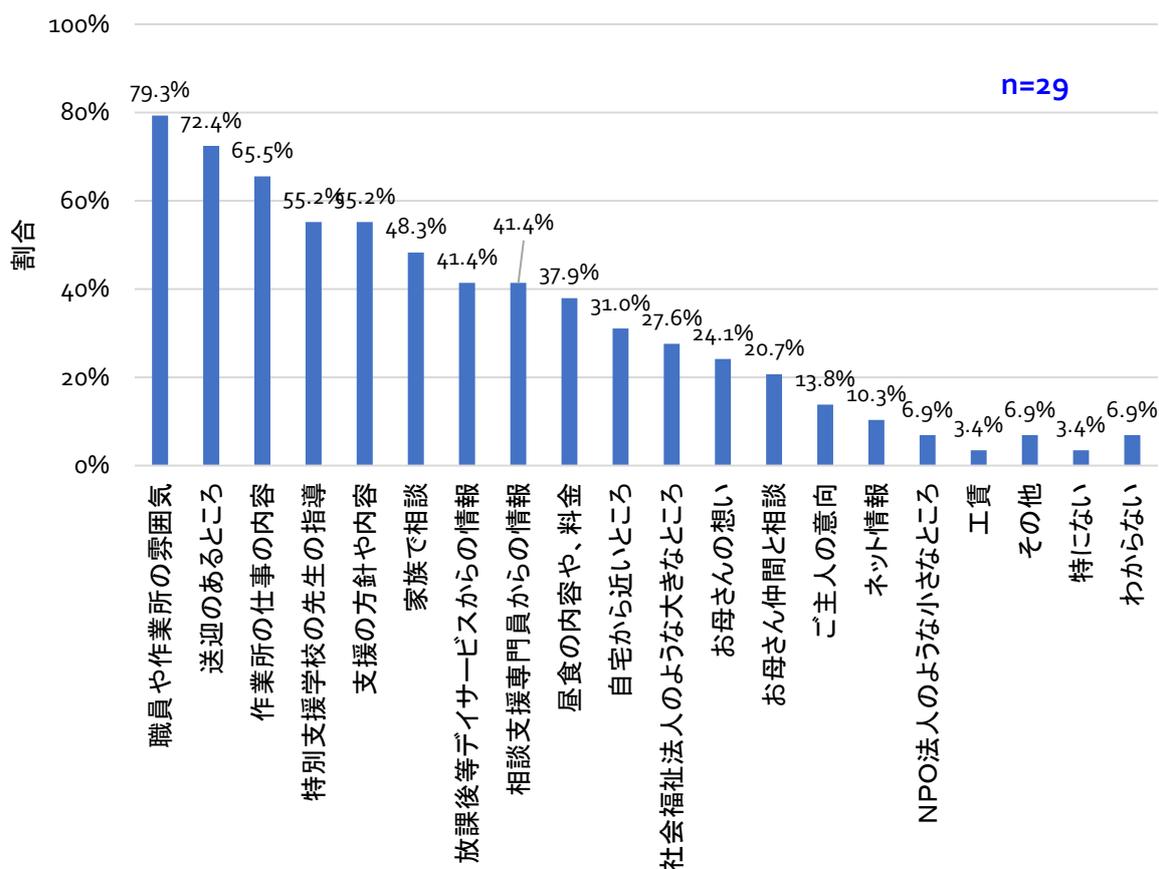


(3) 作業所を決めるときの決め手

「福祉的就労（福祉施設、作業所等）」を選択された方に、「作業所を決めるときの決め手」について、例を列記し選択を尋ねたところ、4割以上の支持があった決め手を高い順番から並べると「職員や作業所の雰囲気」(79.3%)、「送迎のあるところ」(72.4%)、「作業所の仕事の内容」(65.5%)、「特別支援学校の先生の指導」(55.2%)、「支援の方針や内容」(55.2%)、「家族で相談」(48.3%)、「放課後等デイサービスからの情報」(41.4%)、「相談支援専門員からの情報」(41.4%)、となりました。

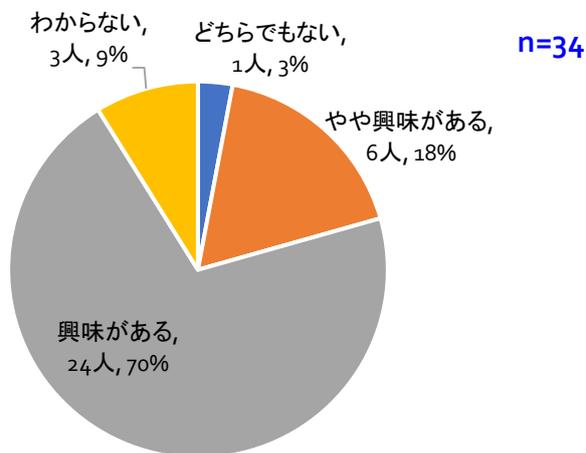
特に、ベスト3となった「職員や作業所の雰囲気」、「送迎のあるところ」及び「作業所の仕事の内容」は、ほとんど方が決め手としていることがわかりました。青葉会の作業所とも情報共有させていただきます。

また、その一方で、他者からのアドバイスである「特別支援学校の先生の指導」、「家族で相談」、「放課後等デイサービスからの情報」及び「相談支援専門員からの情報」もたくさんの方が選択されていることもわかりました。ペガサスの役割を改めて実感したところでした。就労に関しても、ご家族の方々が日々の中で「ペガサスに聞いてみよう」と気軽に話せる事業所・職員になっていく事が重要であると熱く感じました。また、保護者会や勉強会等の企画の中で事業所について知る機会を積極的に作っていくこともやってみようかとアイデアを頂きました。



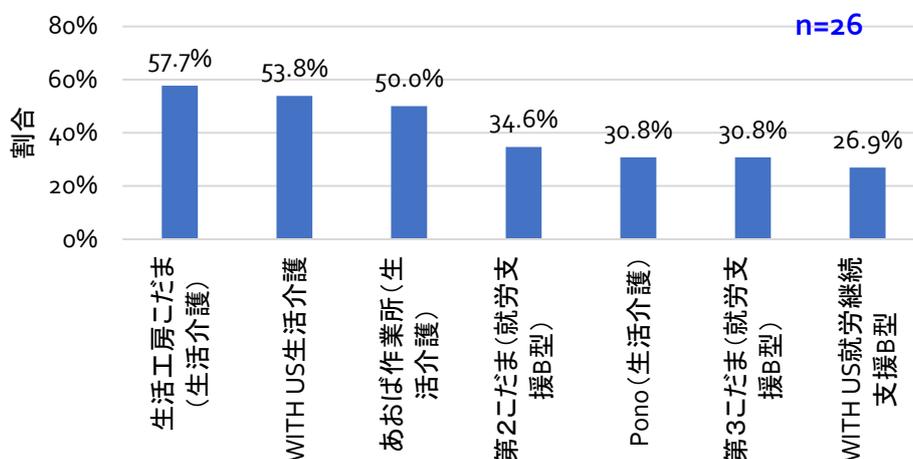
(4) 興味のある青葉会の作業所

「福祉的就労（福祉施設、作業所等）」を選択された方に、「高校（高等部）の卒業後の進路先として、青葉会の作業所に興味を持っているか」尋ねると、「興味がある」及び「やや興味がある」を合わせると88%ものご家族が興味を示されていることがわかりました。



(5) 現時点で興味のある青葉会の作業所

次いで、「青葉会の作業所名」を列記し、具体的に希望事業所を尋ねたところ、「生活介護の事業所」が上位を占めていることが知られました。ペガサスは、全ての利用者が特別支援学校の児童生徒です。今回のアンケートにより、ペガサスを利用されるお母さんたちの多くが、卒後の進路として、青葉会の作業所、特に生活介護の事業所に関心のあることがわかりました。



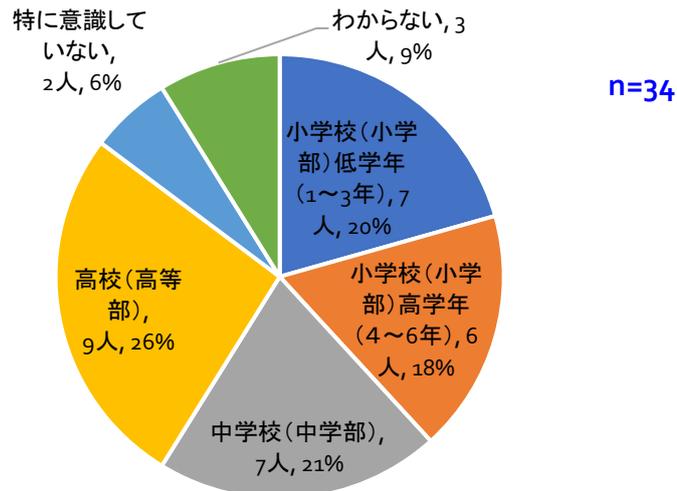
ご家族の方々からリクエストの多い企画が「田んぼ体験」、「短期入所を使ってのお泊り会(ペガサスデー)」、そして「ペガサスでのお仕事体験デー」です。

普段ペガサスの活動の中でも、他事業所の職員達と触れ合う機会が沢山あります！こだまグループの職員達が野菜を配達に来てくれた時に子ども達が玄関先まで出て行きご挨拶をしたり、「〇〇くん！元気？」等とお顔や名前を覚えてくれたり、WITH US 多目的室での平日活動時には WITH US の職員達を何度も逢っているので「〇〇ちゃん！いらっしゃ〜い！」等と声を掛け迎えてくれたり、時々多目的室に来てくれ一緒に遊んだり、泣いて動けずにいるお子さんに寄り添ってくれたり...様々な触れ合いを子ども達としてくれています。

(6) お子さんの就労を意識し、情報を集め始めた時期

「どの時期からお子さんの就労を意識し、情報を集め始めたか」について、学校の時期を列記し、選択を尋ねたところ、「小学部低学年」からを選択される方も20%程度いらっしゃる事がわかりました。これはペガサスの利用者の全員が特別支援学校であり、小学部であっても就労情報が提供されていることが影響していると考えられます。

学校だけでなく、青葉会を通じて、さらに深みのある情報をお伝えしていけるものと思いました。青葉会の作業所では、WITH US 施設長が担当して土・日に見学対応を個別でさせて頂いております。青葉会の作業所に関心がございましたら、ペガサスまでお知らせください。



(7) 高校(高等部)卒業後の進路(就労)に向かったの想いや、進路(就労)に関してペガサスでやってほしいことや期待

青葉会の事業所に繋がっているけれど、まだまだ就労への情報がわからないという答えも多かったです。ぜひ、私達に遠慮なくお話くださいね。私達はご家族の方々が一番近くにいる職員です！「まずは、ペガサスに聞いてみよう！」とご家族の方々にとって“聞きやすい事業所”“ペガサスだったら相談にのってくれるのではないかな”という信頼関係があつての嬉しいリクエストを沢山顶げる事業所を目指していく事、日頃、丁寧に受け止める姿勢や柔軟さが信頼関係を築き、気さくに気楽に聞ける存在となり、いつもいつでも「相談しよう」という思いに繋がってほしいと、ご家族との信頼関係を大切に育んでいく事を継続して取り組んでいく私達の姿勢が青葉会を就労先のひとつとして考えて頂けることに繋がっていくのではと考えます。

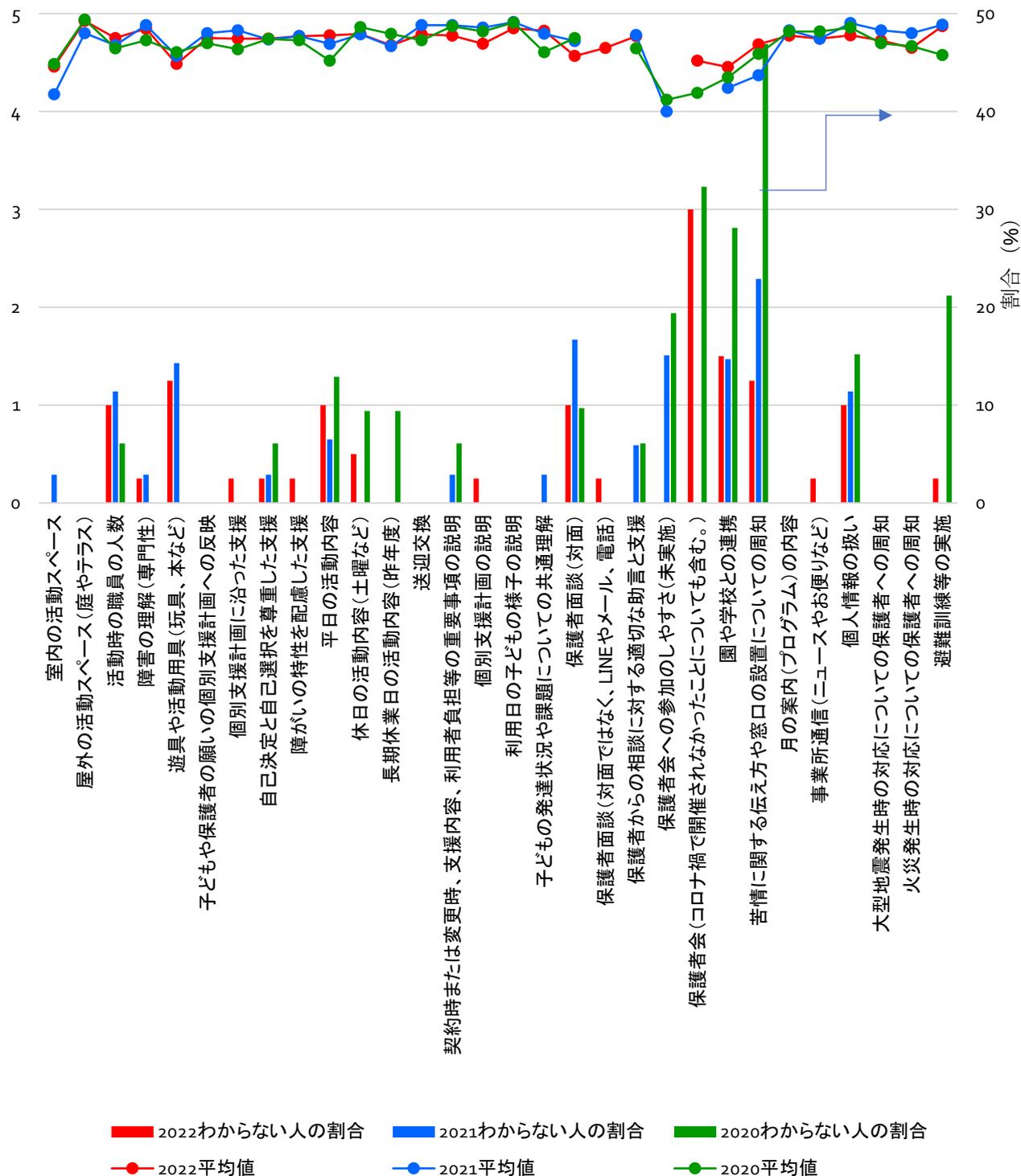
ペガサスは、「子ども達・お母さん・ご家族を真ん中に」の想いを大切にいつも感じています。温かな思いが伝わりますように...と思っているのですが、今回もお母様方から沢山の温かなお言葉を頂き心が熱くなりました。ありがとうございます。

子ども達が毎日楽しみに来てくれるペガサスとなっていきますように...、お母様が安心して送り出して頂ける事業所になっていきますように...、そして今年度は、法人ならではの強みをフル活用して子ども達の未来へも思いが届く放課後等デイサービス事業所へなっていきますように...と精進して参ります。沢山の工夫の実践で前進します！

(自閉症サポートセンター ペガサス職員一同)

8. 第2ペガサス

I 今年度の活動



今年度もアンケートをお配りした全ての方から回答をいただくことができました。アンケートの項目も多く、日々、多忙な生活の中で記入も大変だったかと思います。回答に対し、一つひとつ丁寧に、そして正確にお答えいただき、心より感謝申し上げます。

ご家族アンケートの実施も今年度で5回目を迎えましたが、毎年、いずれの項目も5点(満足)や4点(やや満足)の評価をいただいております。結果を拝見するたびに職員一同、やりがいと力をいただいております。ありがとうございます。

ここでは、今年度のアンケート結果で、他の項目と比較して評価の低かった項目と、「わからない」と答えた方が多かった項目についてコメントさせていただきます。

(1) 「わからない」の回答が多かった項目

① 保護者会(コロナ禍で開催されなかったことについても含む)(わからない方は全体の30%)

例年、複数回開催されていた保護者会ですが、コロナ禍をきっかけに開催を見送らせていただいております。ですが、長いコロナ禍の中で徐々に開催の目処が立ち始め、今年度は青葉会事業所として初めてオンライン保護者会を開催させていただきました。初めての開催ということもあり、諸々とアナウンスが不足しており、そうした配慮の足りなさから、「わからない」と多く回答をいただいていたと痛感しております。一方で参加された方には、高い評価をいただきました。今後も定期的な開催を検討しておりますので、その際は多くの方にご参加いただけるよう、工夫してまいります。

② 園や学校との連携(わからない方は全体の15%)

この項目については、後述の評価の低かった項目にも含まれておりますので、併せてコメントをさせていただきます。この項目は、ご家族アンケート実施初年度より、「わからない」、そして、他の項目と比較して低い評価をいただいている項目となっております。その為、2021年度より支援計画を作成する際に記入していただく、親の願いの書式に「学校との連携について」の項目を追加しております。その結果、少しずつではありますが、「わからない」の回答も減ってきており、また、年々評価も高まっております。後期については、面談等を通して皆様のご意見を聞かせていただき、適材適所に対応できるよう、努めてまいります。

③ 苦情に関する伝え方や窓口の設置についての周知(わからない方は全体の12.5%)

この項目も毎年多くの「わからない」の回答をいただいている項目となります。その為、重要事項説明書の配布の際に別途お手紙を配布させていただいたり、保護者会を通して周知してまいりました。その結果、2019年度に約70%の「わからない」をいただいていた項目が、今年度は12.5%となりました。割合は少なくなっておりますが、この項目については、子どもたち、ご家族の皆様が、何か気になることや不安なことがあった際に相談することの出来る大切な窓口です。全ての方に周知が出来るよう、配布物や保護者会、面談、送迎時等に丁寧に説明させていただきたいと思っております。

(2) 他の項目と比較して評価の低かった項目 (満点5点)

① 園や学校との連携 (4.455点)

前述で記載をさせていただいた通りです。多くの方が求めている、期待している項目と思います。ご満足いただけるよう、引き続き、取り組んでまいります。

② 室内の活動スペース (4.459点)

この項目も毎年、他の項目と比較すると低い評価をいただいている項目となっております。第2ペガサスの室内はワンフロアスペースではなく、約8畳～12畳の活動室が3部屋あります。この3部屋はそれぞれ過ごし方が異なっており、ゆっくりする子供たちの部屋・バスケットゴールやバランスボースがあり、身体を動かしたい子どもたちの部屋・机やソファがあり、工作やブロックなど玩具で遊ぶ部屋となっております。また、その他、プログラムによっては、同じ敷地内にあるトライアングル広い部屋を貸していただきながら活動を行うこともあります。天候やその日その日の子どもたちの様子、全体の状況に応じて部屋を使い分ける事で、どんな子どもたちでも楽しめる環境となっております。

③ 遊具や活動用具 (玩具、本など) (4.486点)

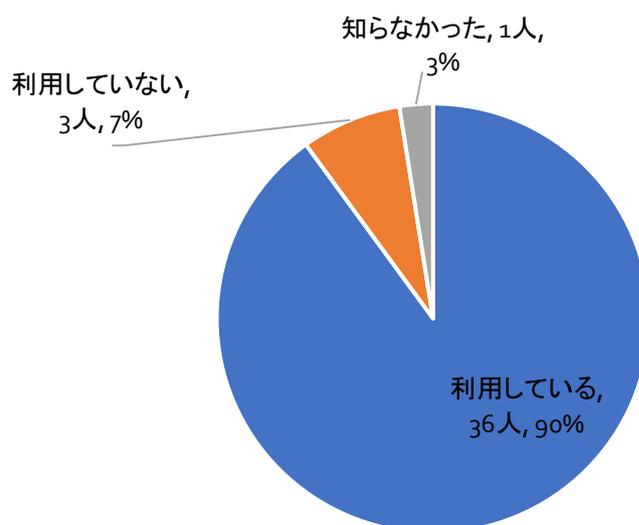
第2ペガサスでは、以前までは滑り台やブランコなどの遊具がテラスに設置されておりましたが、いずれも安全面を考慮して現在は設置を取りやめています。それに代わるものとして、現在は、キックボードや3輪カートを用意しており、また、日によっては大縄跳びをして遊んでいます。また、大型のトランポリンは継続して設置しており、毎日たくさん子どもたちが順番に楽しんでいます。室内では、レゴブロックやぬいぐるみ、プラレールやおままごとなど様々なレパートリーが多数用意されています。保護者会や面談、事業所ニュースなどを介して少しずつお伝えしていきたいと思っております。

II LINEの利用について

(1) 第2ペガサスLINEの利用

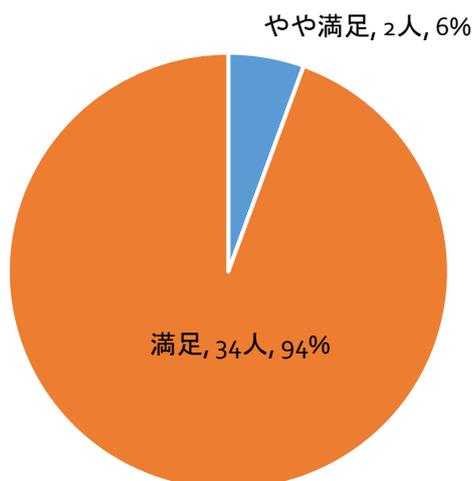
「第2ペガサスLINEの利用」について尋ねたところ、90%の方が利用されていることがわかりました。

昨今の状況から、コロナに関連した連絡のやり取りが多くなりました。ご家族の皆様のニーズに合わせ、より密に、タイムリーなやり取りが出来るツールが必要と思い、アンケート調査の結果を踏まえて昨年の11月からLINEを開始致しています。



(2) 第2ペガサスLINEを利用した感想

「第2ペガサスLINEを利用している」を選択された方に、その利用満足度について尋ねたところ、94%の方から「満足」、残りの6%の方から「やや満足」と回答をいただきました。

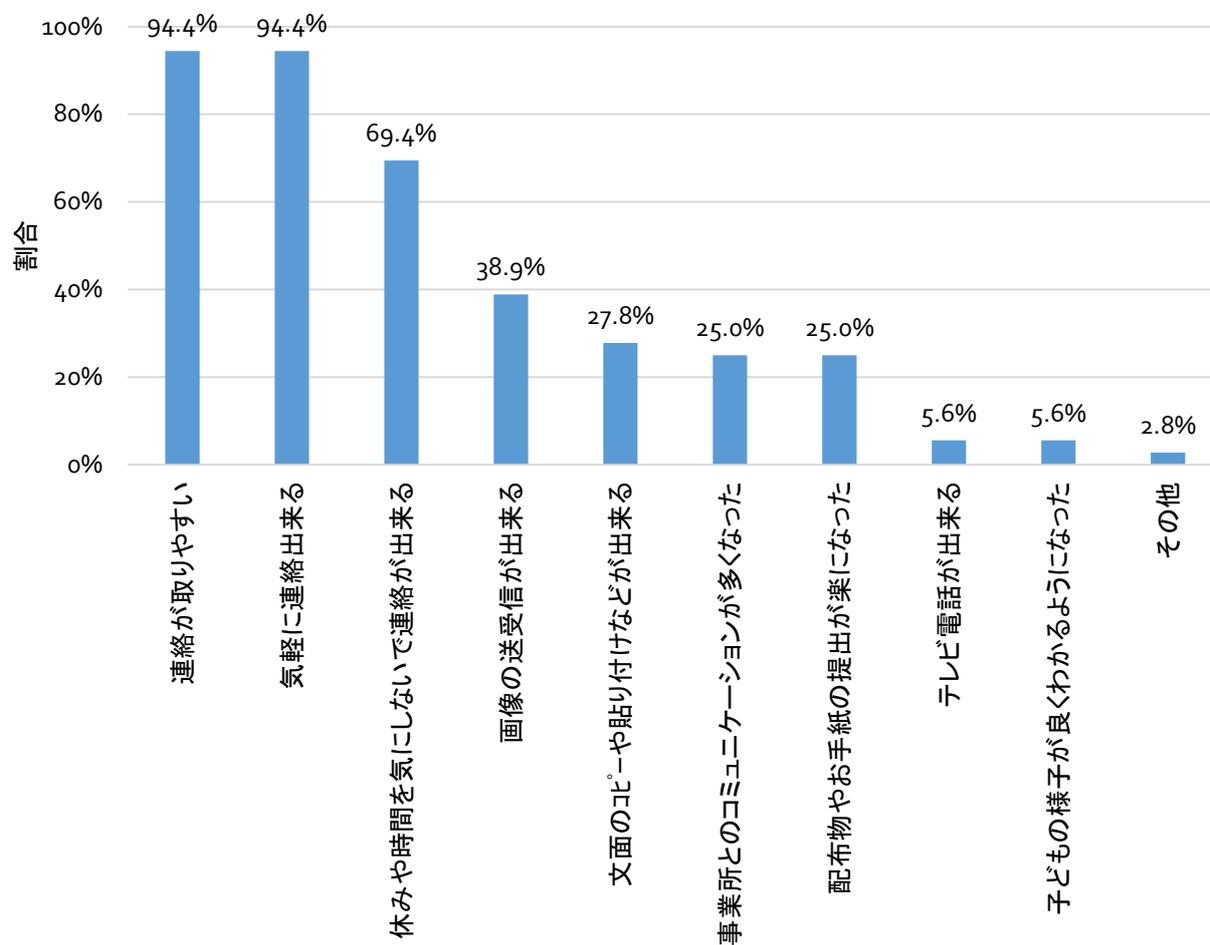


(3) 第2ペガサスLINEを利用して満足した点

前項で、「第2ペガサスLINEを利用している」方全員に満足していただけることがわかりました。そこで、「第2ペガサスLINEを利用している」方に対して、「満足したところ」について、満足例を列記し選択を尋ねたところ、ほとんどの方が「連絡が取りやすい」(94.4%)、「気軽に連絡出来る」(94.4%)を選択され、また3人に2人は「休みや時間を気にしないで連絡が出来る」を選択されました。

連絡の取りやすさ、しやすさに高い満足度をいただいたことに、運用を開始して良かったと改めて感じております。

今後の期待をお伺いした項目では、「写真」や「動画」に関するものが最も多く、中には「第2ペガサスのスタンプ」についても記述していただきました。少しずつですが、準備が整い次第、出来ることから取り組んで参ります。



Ⅲ 子どもさんの進路

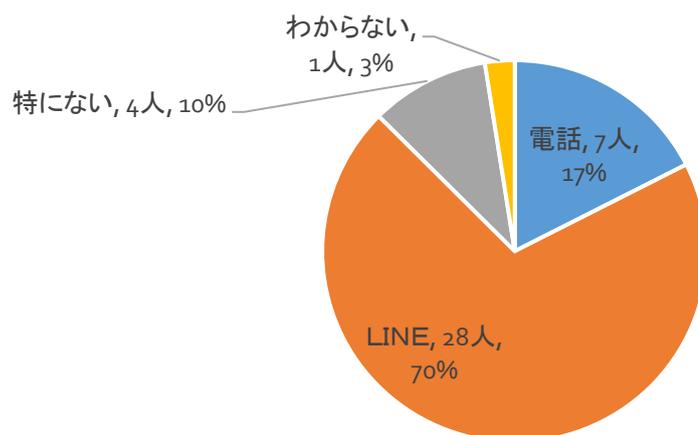
(1) 小学校、中学校、高校の卒業後の進路(就労)についての想いや悩み、ご希望、及び進路(就労)に関して第2ペガサスでやってほしいことや期待

この項目では、自由記述で回答していただき、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。特に多かった意見としましては、「青葉会作業所のお仕事体験や説明会の実施」を希望するものでした。こちらについては、コロナの状況、また、作業所と相談を重ねていき、準備が整い次第、ご案内をさせていただきます。また、その他にも、「先輩ママの意見を聞きたい」、「中学校・高校への進路について相談したい」、「グループホームを知りたい」など、直近の悩みから将来の悩みなどたくさん思いを綴っていただきました。こちらについては、個別にご案内をさせていただきます。今回記述していただいたこと以外でも気になること、不安な事がありましたら、どんな些細なことでも大丈夫です。お気軽にご相談ください。

Ⅳ 利用キャンセルがあったときの案内

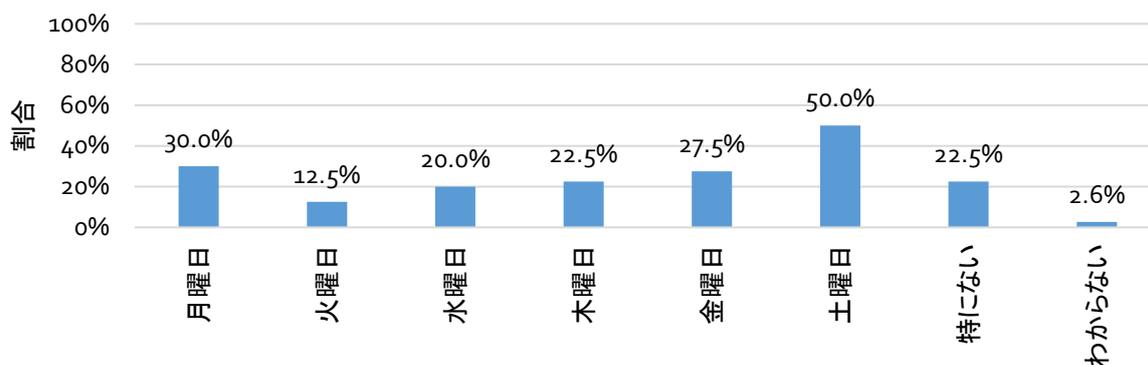
(1) キャンセルが出た時の案内方法

「キャンセルがあったときの案内」について、案内方法を列記して、一つだけ選択してもらったところ、圧倒的に「LINE」(70%)が多く、次いで「電話」(17%)を選択されました。



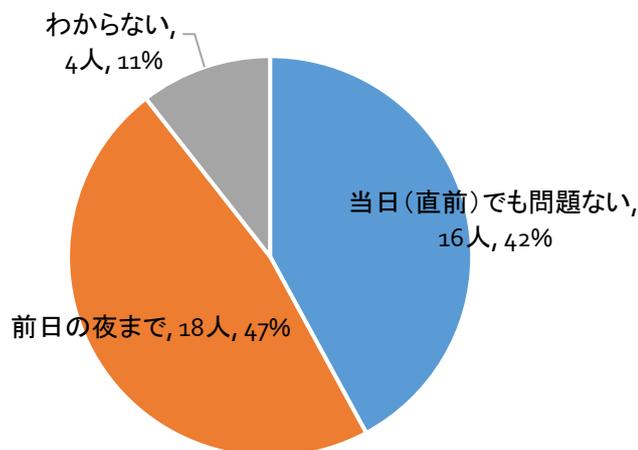
(2) 利用可能(お誘いが可能)な曜日

「利用可能(お誘いが可能)な曜日」を尋ねたところ、「土曜日」(50.0%)のご希望が多かったものの、どの曜日においても可能な方がいらっしゃる事がわかりました。



(3) キャンセルの案内はいつまでに差し上げればよいか

「キャンセルの案内はいつまでに差し上げればよいか」尋ねたところ、「前日の夜まで」(47%)、「直前でも問題ない」(42%)の回答をいただきました。



利用キャンセルがございましたら、今回のアンケートの結果を踏まえて、適宜、利用の枠に余裕がありましたご案内をさせていただきます。さらに追加の利用希望がございましたら、遠慮なく事業所までご連絡ください。皆様のご利用を楽しみにしています。

最後になりますが、コロナ禍も長く長く長く、、、続いていますね。どこに行っても、何をしようとしてもコロナに影響され、満足に出来ないことも少なくないですよ。第2ペガサスもお出掛け企画などの見通しがまだまだ立たず、「また行きたいな」と言ってくれる子どもたちに「ごめんね」と申し訳なく感じています。でも、少しずつですが、コロナ禍でも出来る事がたくさん見つけられ始め、また、コロナ禍だからこそ、見つけられた新たな強みもあります。プール活動や体育館活動、オンライン保護者会やLINE運用がその一部かと思っています。私たちはご家族の皆様寄り添い、子どもたちが楽しく過ごせる環境を大切にしています。今後もご協力を賜うことも多くあると思いますが、第2ペガサスは常にパワーアップしていきます。どうぞ、今後ともよろしくお願い致します。

(第2ペガサス職員一同)